

Gobo City

御坊市
事前復興計画



令和 6 年 3 月

和歌山県御坊市

我が国は、南海地震や伊勢湾台風、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの度重なる大災害により甚大な被害を受け、幾度にわたり復旧・復興を繰り返してきました。

本市においても、昭和28年7月18日の紀州大水害により未曾有の災害に見舞われ、先人たちが苦勞して復興を成し遂げてきた歴史があります。

近年、私たちが住む地域においても、気候変動に伴う異常気象による風水害に加え、南海トラフ巨大地震が懸念されるなど、潜在的なリスクが存在しています。

発災後、復興に要する期間が長引くほど、住民や企業は疲弊し、再生する意欲を失い、まちを離れる事態を招くなど地域の活力が失われ、まちの存続が危うくなる恐れがあります。

それを防ぐために必要となるのが「事前復興計画」です。この計画は、南海トラフ巨大地震が発生したことを想定し、被災後、迅速かつ着実に復興を行うため、どのような方針で復興のまちづくりに取り組むのか。また復興後のまちをどのような姿にするのかを示した「たたき台」となるものです。

市民の皆様方の安全・安心と、生活の保護を最優先に考え、事前に具体的な復興計画を立てておくことで、発災後の混乱を避け、迅速かつ円滑に安全な状態まで回復できるよう取りまとめました。

この事前復興計画は、私たち市民が市全体で取り組むべき課題であり、市民の皆様お一人おひとりの連携と協力によって、初めて真の効果を発揮するものです。

これからも安全・安心な社会を築き上げるために、全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様方のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたり、熱心に御審議いただき、貴重なご意見やご指導を賜りました御坊市復興計画策定委員会委員の皆様方をはじめ、アンケート調査にご協力いただきましたすべての方々に心から感謝申し上げます。

令和6年3月



御坊市長 三浦 源吾

目次

はじめに	1
1. 事前復興・事前復興計画とは.....	1
2. 計画の前提.....	1
 第1章 御坊市の現状と課題	3
1. 御坊市の現状.....	3
2. 復興における課題.....	39
 第2章 事前復興計画策定の基本的な方針	41
1. 本市が目指す将来都市像.....	41
2. 基本目標.....	42
3. 基本方針.....	42
 第3章 復興ビジョン	45
1. 市全域の復興まちづくりの方針.....	45
2. 全市の応急復旧期のまちづくり	47
3. 全市の復興期のまちづくり	51
4. 地域別応急復旧期・復興期まちづくり	54
 第4章 復興プロセス	66
1. 復興まちづくりのステップ.....	66
2. 復興まちづくり体制.....	67
3. 分野別復興プロセス.....	69
 第5章 復興事前準備	82
1. 復興事前準備とは.....	82
2. 分野別復興事前準備.....	82
 第6章 復興事前準備の推進に向けて	105
1. P D C Aサイクルの推進.....	105
2. 評価検証の実施.....	105
 今後に向けて	106

はじめに

1. 事前復興・事前復興計画とは

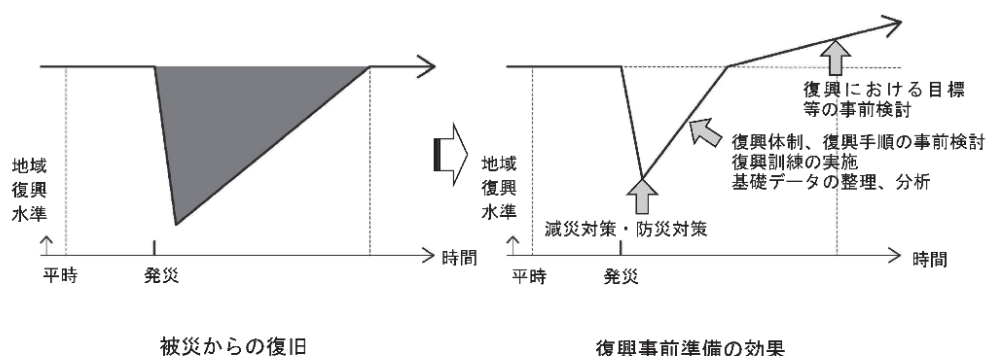
(1) 復興事前準備の重要性

東日本大震災以前は、主として地震等の災害発生時に被害を出さないようにするという考え方のもと、建物の耐震化や防潮堤の整備等を行う「防災対策」が進められてきました。東日本大震災後、「防災対策」は多大な予算と時間を要し、これだけに頼ることは現実的ではなく、むしろ一定の被害を前提としつつ、限られた時間と予算の中で災害時にその被害を最小化するという「減災」の考え方も取入れ、総合的に「防災・減災対策」を事前の対応として進められてきました。

一方、実際に被災した場合には、早期の復興まちづくりが強く求められ、復興まちづくりを早期かつ的確に行うため、「防災・減災対策」と並行して、事前に被災後の復興まちづくりを考えながら準備しておく「復興事前準備」の取組を進めておくことが重要です。「復興まちづくり計画検討のためのガイドライン（令和5（2023）年7月 国交省）」では、復興まちづくり計画（本計画と同義語）について、“市町村において、発生しうる災害による被災の分布や規模を想定し、復興後の空間を計画するものであり、復興まちづくりの目標や実施方針、目標の実現に向けた課題、及び課題解決のための方策をとりまとめたもの”と定義しています。

本市では、復興事前準備を総合的に取組むことにより、まちの復興水準を向上させることを目的とするため、事前復興計画を都市計画マスタープランと同時に策定することで、平時・有事のまちづくりに復興事前準備の取組を取り入れながら、まちづくりを推進していきます。

□復興事前準備の取組の効果



出典：復興まちづくりのための事前準備ガイドライン（国土交通省都市局）

2. 計画の前提

(1) 対象とする災害

本計画では、本市に最大の被害をもたらすと想定される、南海トラフ巨大地震（M9.1）の地震被害想定とします。なお、南海トラフ巨大地震は最大であり、現実にはそれ以下の被害となる場合も想定されるため、被災後に策定される「復興計画」においては、被害状況に応じ本計画を柔軟に見直して策定するものとします。

(2) 計画の目標年次

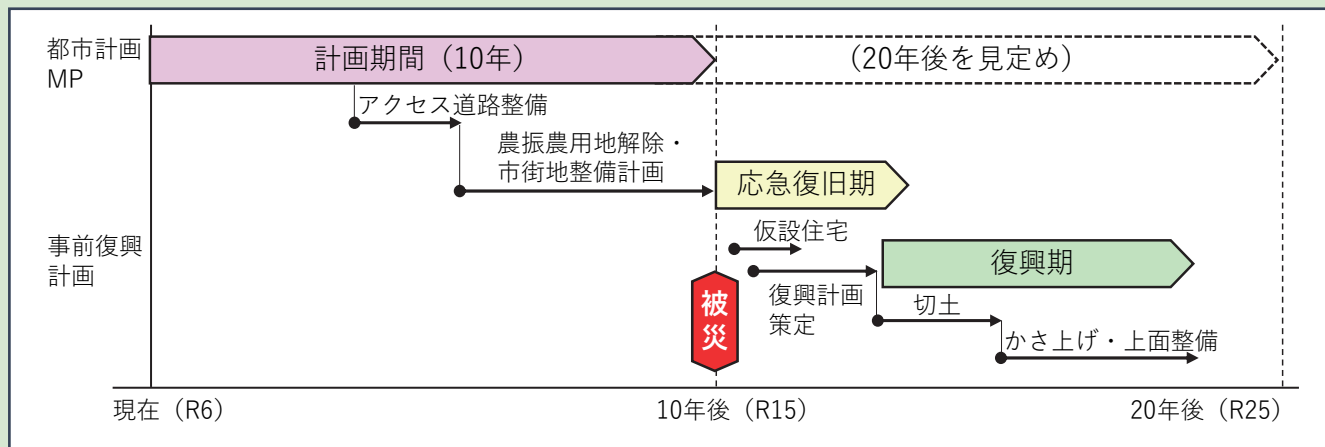
和歌山県の被害想定では、死亡者数が発表されています。しかし、本計画では、被災直前に正しい行動が行われ、全市民が助かることを前提とします。また、被災後、親戚、友人等を頼って市外へ逸散することが考えられます。そのボリュームを一定程度見極めるため、本計画を策定する際に実施した意向調査の結果を踏まえ、計画人口を算出しました。なお、本計画では、10年後に津波が襲来した場合を想定し、人口減少を加味した計画を行います。

■都市計画マスタープランと事前復興計画の目標年次の関係について

御坊市都市計画マスタープランは20年後の将来を見定め、直近10年間の計画期間内に御坊駅前の都市的土地利用の検討などを行い、居住をゆるやかに誘導することとしています。

一方、本計画は都市計画マスタープランの計画期間終了後に被災したと設定し、都市計画マスタープランが見定めている20年後の目標に向かって復興まちづくりを進めることになります。

都市マスは緩やかに誘導するため、目標年次でも達成できていない可能性が高いですが、事前復興計画により被災後はスピーディに、目指す将来都市構造が達成されることとなります。



(3) 前提となる考え方

津波防災地域づくりに関する法律（平成23（2011）12月14日制定）や津波防災地域づくりに関する基本的な指針では、発生頻度の高い津波（L1津波）と最大クラスの津波（L2津波）を定めています。

L1津波においては、海岸堤防や河川堤防等による人命・資産の保護を図り、L2津波に対しては、住民避難を軸としたハード・ソフトの総合的な対策により、人命を守るための対策を講じることとしています。

本計画においても、復興まちづくりの整備では、L1津波対策のハード整備を前提に「防御」を図るとともに、L2津波に対しては、「逃げる」を最優先することとします。

※ L1津波：レベル1津波（東海・東南海・南海3連動地震で発生する津波）

※ L2津波：レベル2津波（南海トラフ巨大地震で発生する津波）

第1章 御坊市の現状と課題

1. 御坊市の現状

(1) 都市の成り立ち

①都市形成の歴史

本市は、旧石器時代（1万数千年以上前）の遺跡から石器、縄文時代・弥生時代の遺跡から土器などが出土しているほか、堅田遺跡は県下で最も古い弥生時代（2,200年前）の環濠集落とされ、国内最古とされる青銅器ヤリガンナの鋳型も発見されるなど、県下でも古くから人々が生活していた地域として知られています。

古墳時代（3世紀～7世紀頃）には多くの古墳が築かれました。また、飛鳥時代の大宝元（701）年には道成寺が創建されたとあり、県下に現存する最古の寺院となっています。

平安時代（8～12世紀）になると熊野三山への参詣が行われるようになり、本市を通る参詣道（熊野古道）が整備され、本市では善童子・愛徳山・海士・岩内・塩屋・上野の各王子が祀られました。

その後、安土桃山時代の文禄4（1595）年、浄土真宗本願寺の坊舎「日高御坊」（現在の「日高別院」）が建立され、当地が「御坊」と呼ばれる地名のもととなりました。江戸時代（1603～1868年）には、日高御坊周辺に各地の特産物などを扱う問屋や商店、旅籠などが軒を並べ、「寺内町」として大変栄えました。

明治時代（1868～1912年）になり、動力の近代化や航路・道路の整備が進むとともに地場産業が伸展しました。大正時代（1912～1926年）には、紡績と製材業が繁栄し全国から従業員が集まるようになりました。昭和4（1929）年の紀勢本線開通と昭和6（1931）年の現在の紀州鉄道が開業したことにより、本市中心部の商工業は目ざましい発展を遂げましたが、第二次世界大戦の空襲で相当な被害を受けました。

昭和28（1953）年には和歌山県下を襲った未曾有の大水害により、御坊町の市街地を中心に壊滅的打撃を受け、水害の復旧に苦慮する中で、翌年、昭和29（1954）年の町村合併により「御坊市」が誕生し、昭和30（1955）年の国勢調査で人口31,908人となりました。昭和44（1969）年に火力発電所の誘致計画を発表し（昭和60（1985）年に人工島方式で竣工）、昭和48（1973）年に旧市庁舎が竣工、昭和58（1983）年に日高港が国の重要港湾に指定されるなどの開発が続きました。また、平成8（1996）年の湯浅御坊道路、平成15（2003）年の阪和自動車道開通で交通アクセスが大きく改善され、日高港の港湾整備や工業団地の造成も進みました。

平成26（2014）年には市制60周年を迎え、紀中の中心都市としてのまちづくりが続いています。

令和5（2024）年に防災拠点機能を備えた現在の市庁舎が竣工しました。



②沿革

明治22（1889）年の町村制実施により、御坊・湯川・藤田・野口・塩屋・名田の6か村が成立し、明治30（1897）年に御坊村が町制を施行しました。明治・大正・昭和戦前期は、1町5村の時代が続き、戦後の昭和29（1954）年4月に合併し、御坊市が発足しました（発足時の人口は31,844人）。

その後、昭和34（1959）年4月に日高郡印南町明神川の一部を、昭和53（1978）年11月に日高郡日高町荊木の一部を編入し、現在に至っています。

(2) 人口

①人口及び世帯数

・本市は人口減少する一方、核家族化が進展

本市の総人口は30年前の平成2年(29,133人)から一貫して減少傾向を示しています。令和2年の人口は23,481人で、30年前比(約80.6%)となっています。

総世帯数及び一世帯あたりの人口は、30年前の平成2(1990)年(9,179世帯、3.17人/世帯)から令和2(2020)年(10,123世帯、2.31人/世帯)まで一貫して増加傾向を続けており、核家族化が進展しています。

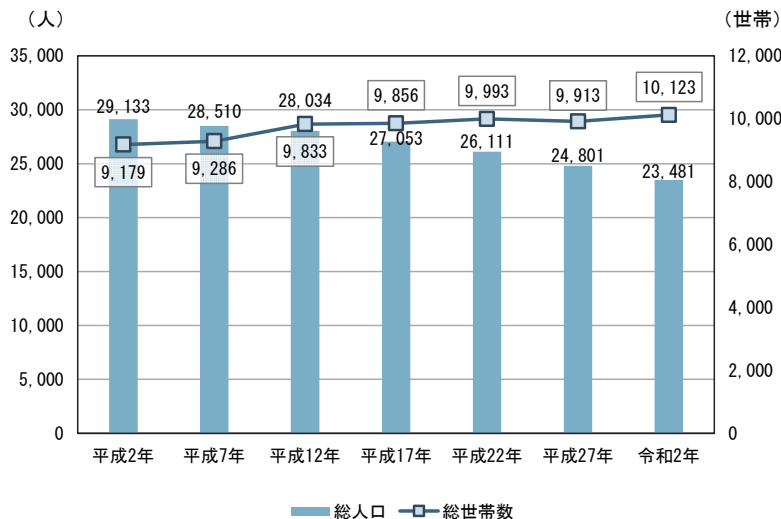


図 人口及び世帯数の推移

資料：国勢調査

②年齢構成別人口

・本市の高齢化率は30年前比からほぼ倍増する一方、年少人口、生産年齢人口が減少するなど少子高齢化が進展

本市の高齢化率は30年前の平成2(1990)年(15.7%)から一貫して増加傾向を示しています。令和2(2020)年の高齢化率は31.9%で、30年前比(16.2ポイント増)、高齢者数は30年前から2,747人増加しています。

一方、年少人口と生産年齢人口は一貫して減少しているなど、少子高齢化の動きが明らかとなっています。

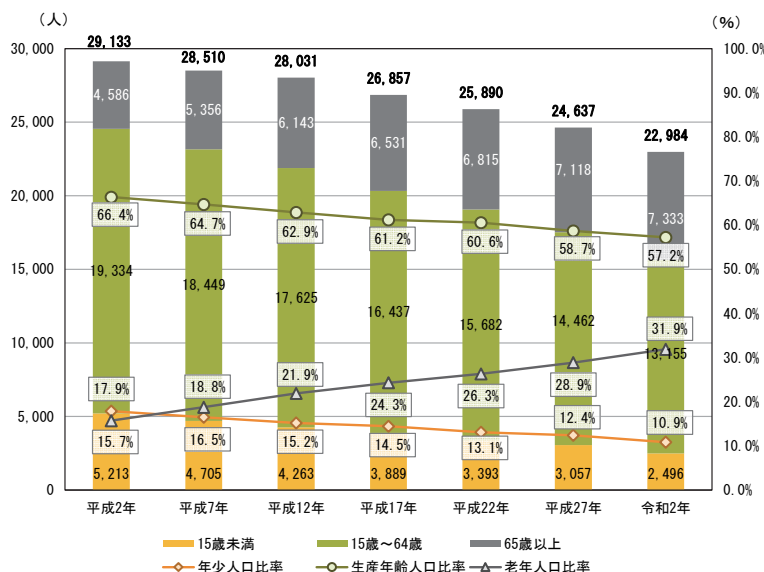


図 年齢構成別人口と割合の推移

資料：国勢調査

③将来人口

- ・ 20 年後（令和 22（2040）年）には現在の 2/3 程度まで人口減少
- ・ 20 年後（令和 22（2040）年）の高齢化率は 35.6%と緩やかに上昇

本市の人口は今後も減少傾向が続くと推計されており、令和 2（2020）年の実績（22,984 人）から 20 年後の令和 22（2040）年にはほぼ 2/3 の 17,856 人になると推計されています。

一方、20 年後には、老年人口比率のゆるやかな上昇（35.6%）、年少人口比率の低下の傾向が続く推計結果が示されており、年少人口比率は概ね 11%台で推移すると推計されています。

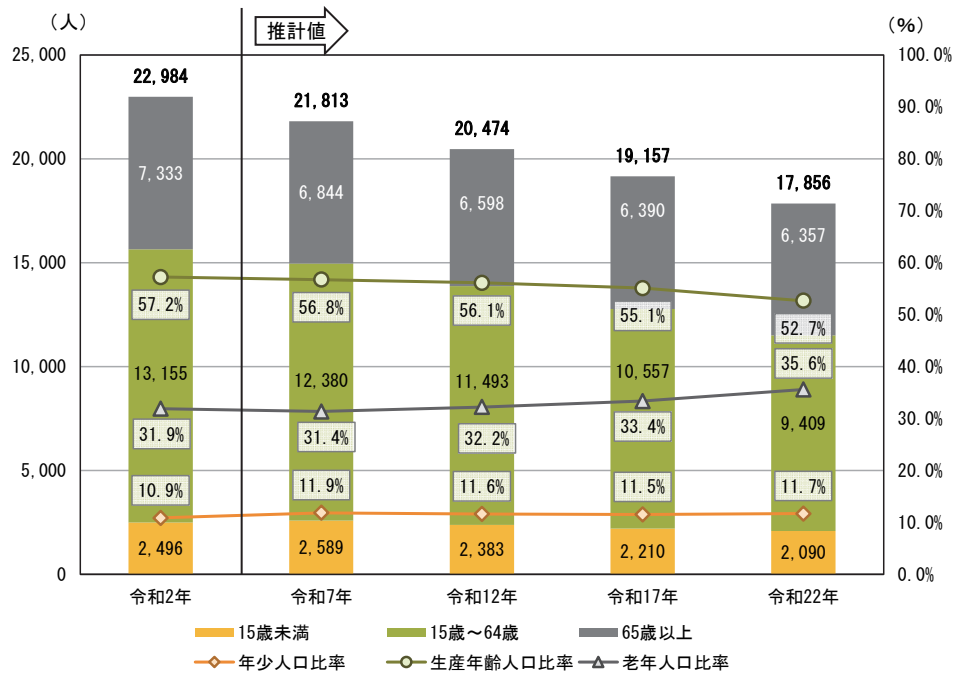


図 年齢構成別人口と割合の推移

資料：日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）／国立社会保障・人口問題研究所

④人口分布

・御坊地域の県道御坊停車場線沿いや学門駅北側、藤田地域の県道江川小松原線沿い、湯川地域の御坊駅から道成寺駅にかけての鉄道沿い、名田地域の国道42号沿いに80人/ha以上の人口集積

人口の分布状況を見ると、御坊地域の県道御坊停車場線沿いや学門駅北側、藤田地域の県道江川小松原線沿い、湯川地域の御坊駅から道成寺駅にかけての鉄道沿い、名田地域の国道42号沿いに80人/ha以上の人口集積が見受けられます。

人口を津波浸水区域との関係で捉えると、本市で最も人口が集中している御坊地域で3mから10mの浸水区域があるのをはじめ、北塩屋・南塩屋地区の国道42号沿道の市街地、名田町楠井の一部の集落といった人口の集積地でも深刻な津波被害が予測されているところが存在します。

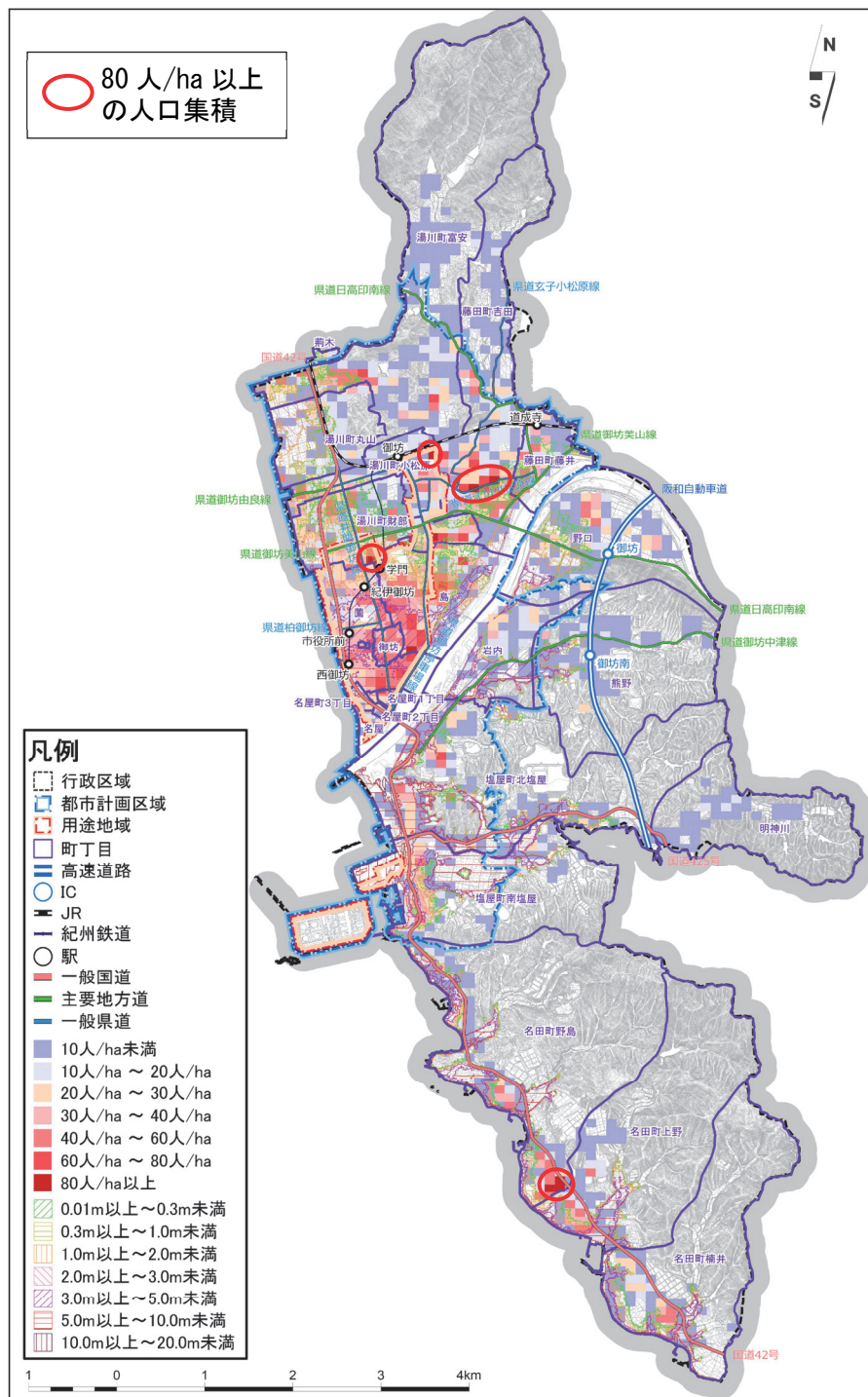


図 100m メッシュ人口と津波浸水想定区域

資料：R2 国勢調査

(3) 資源

① 歴史資源等

- ・ 御坊地域に自然に関するものとして日高別院の公孫樹、歴史文化に関するものは日高別院など6件
- ・ 塩屋地域に自然に関するものとしてハマボウの群生など3件、歴史文化に関するものとして塩屋王子跡
- ・ 湯川地域に自然に関するものとして樟、歴史文化に関するものが亀山城跡など3件
- ・ 野口地域に歴史文化に関するものとして岩内古墳群1号墳など2件
- ・ 藤田地域に歴史文化に関するものとして愛徳山王子跡など3件

本市の歴史資源等は20件あり、御坊地域に自然に関するものが1件と歴史文化に関するものが6件、塩屋地域に自然に関するものが3件と歴史文化に関するものが1件、湯川地域に自然に関するものが1件と歴史文化に関するものが3件、野口地域に歴史文化に関するものが2件、藤田地域に歴史文化に関するものが3件となっています。

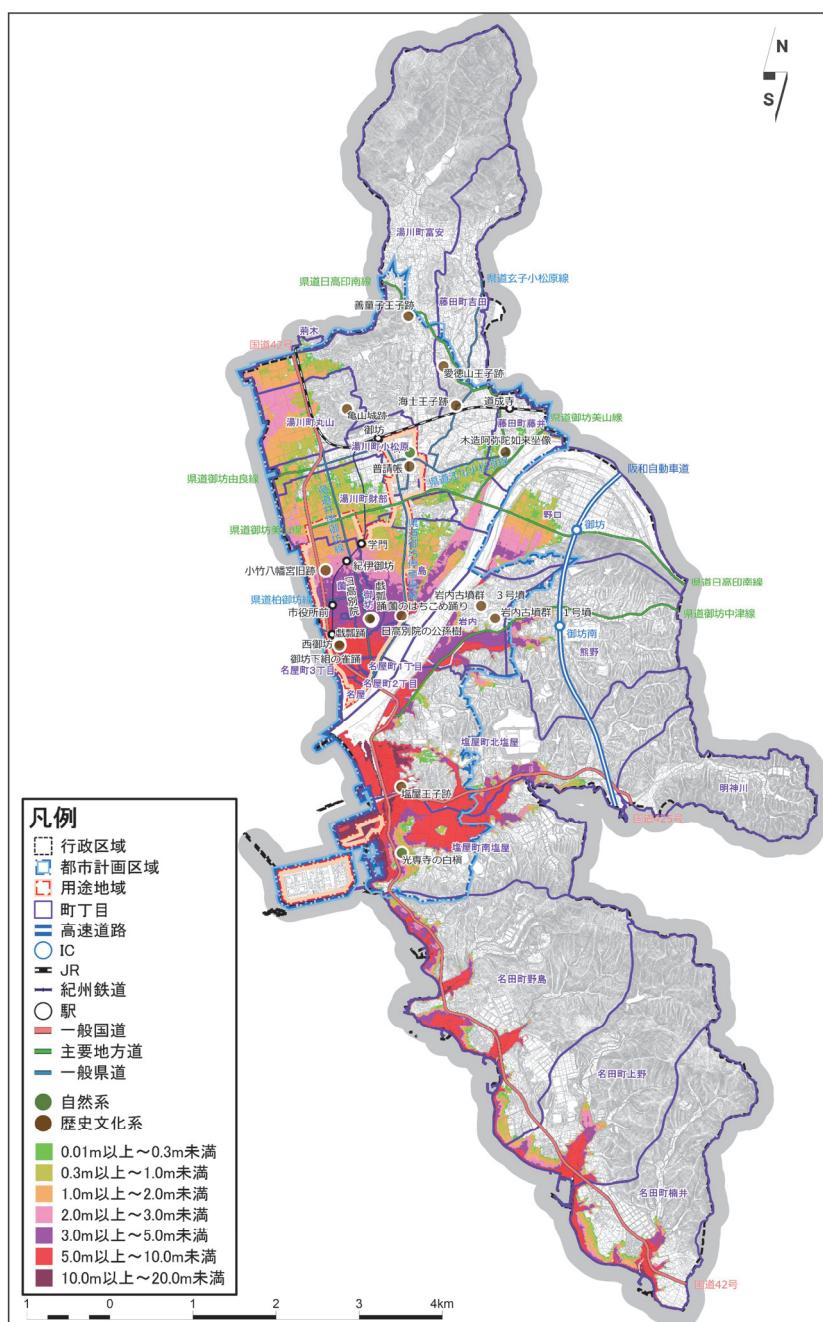


図 歴史資源等分布図と津波浸水想定区域

表 歴史資源等一覧

資源の種類	資源名称	地域
自然系	日高別院の公孫樹	御坊
	光専寺の柏槨	
	ハマボウ(浜朴)の群生	塩屋
	塩屋王子神社の社叢	
	樟	湯川
歴史文化系	小竹八幡宮旧跡	御坊
	日高別院(本堂・表門・裏門・鼓楼・鐘楼)	
	戯瓢踊	
	御坊下組の雀踊	
	蘭のはちこめ踊り	塩屋
	塩屋王子跡	
	善童子王子跡	湯川
	亀山城跡	
	普請帳	
	岩内古墳群 1号墳	野口
	岩内古墳群 3号墳	
	愛徳山王子跡	藤田
	海土王子跡	
	木造阿弥陀如来坐像	

資料：H28 都市計画基礎調査

(4) 産業

①産業構成

- ・全就業者に占める第1次産業（農業・林業・漁業）の就業者割合は若干低下傾向、全国平均や和歌山県平均よりも高い
- ・平成17（2005）年以降、医療、福祉（令和2（2020）年15.7%）に関して著しく上昇傾向
- ・産業別の事業所数ではサービス業が50.4%

本市の産業大分類別の就業者数の推移をみると、全就業者に占める第1次産業（農業・林業・漁業）の就業者の割合は若干低下傾向にあるものの、全国平均や和歌山県平均よりも高くなっています。

平成17（2005）年以降、卸売・小売業の従業者比率が一貫して低下傾向にある一方、医療、福祉に関しては著しく上昇傾向にあり、平成17（2005）年から令和2（2020）年の15年間で5ポイント以上の上昇がみられます。

本市に立地する企業を詳しくみると、産業別の事業所数ではサービス業が50.4%と過半数を占めており、続いて卸売・小売業、建設業が占めています。

一方、従業員数をみるとサービス業に続いて卸売・小売業が多いものの、製造業が9.9%と建設業(5.8%)を上回っています。

産業大分類別の売上は、卸売・小売業の割合が本市の全体売上に占める割合で最も高くなっており、49.9%と約半数を占めています。次いで、製造業、医療、福祉と続いています。

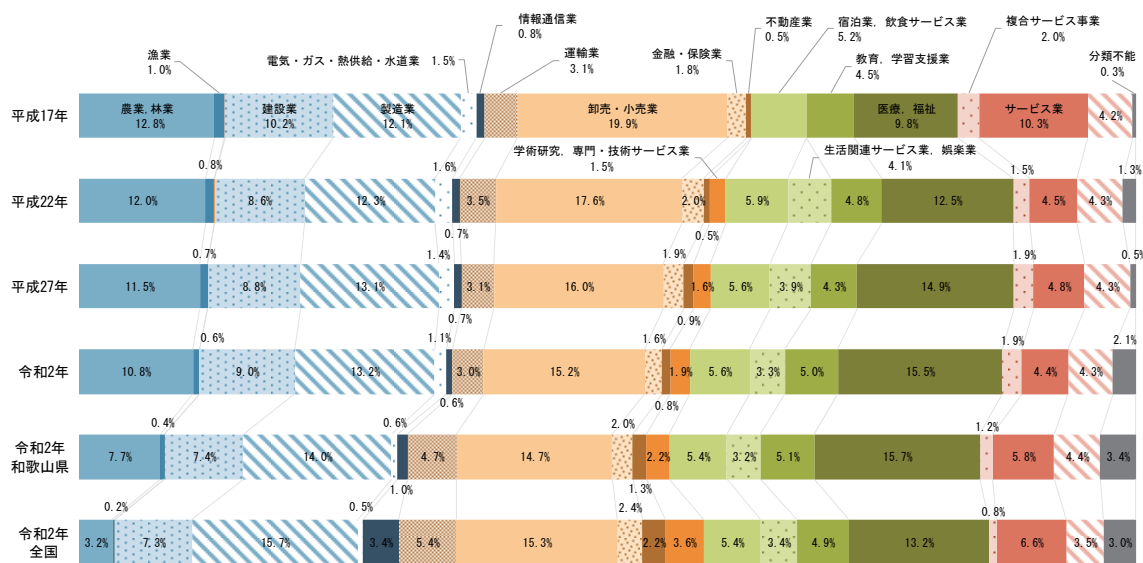


図 産業別人口と割合の推移

資料：国勢調査

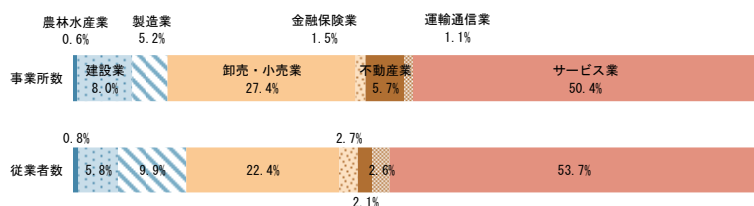


図 産業分類別事業所及び従業者数

資料：令和3年経済センサス活動調査

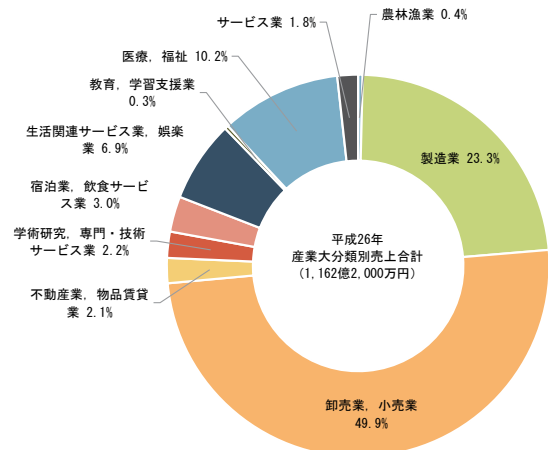


図 産業分類別売上の割合

平成26年経済センサス基礎調査

②農業

- ・農業の産出額をみると、年間に約 38 億円～42 億円で緩やかに推移
- ・経営耕地面積、農家数ともに年々減少
- ・主要農産物は「野菜」

本市の農業の産出額をみると、年間に約 38 億円～42 億円で緩やかに推移しており、そのほとんどが耕種（田畑をたがやし作物を作ること）であります。経営耕地面積、農家数ともに年々減少しており、513ha、741 戸となっています。主要農産物は「野菜」であり約 7 割を占め、次いで「花卉」「米」となっています。

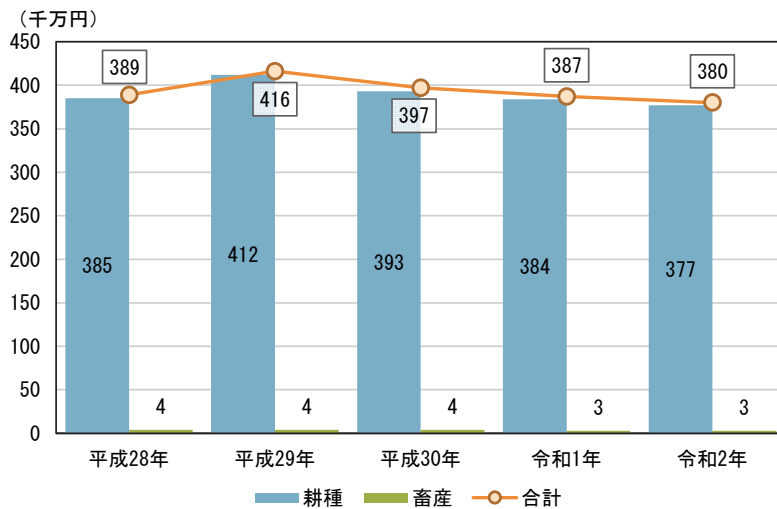


図 農業産出額、耕地面積、面積当たりの産出額の推移

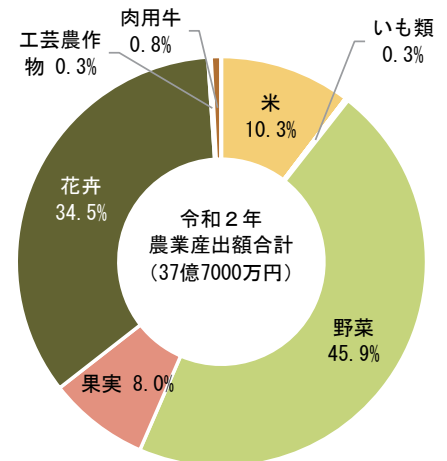


図 主要農産物の割合

資料：市町村別農業産出額（推計）／農林水産省

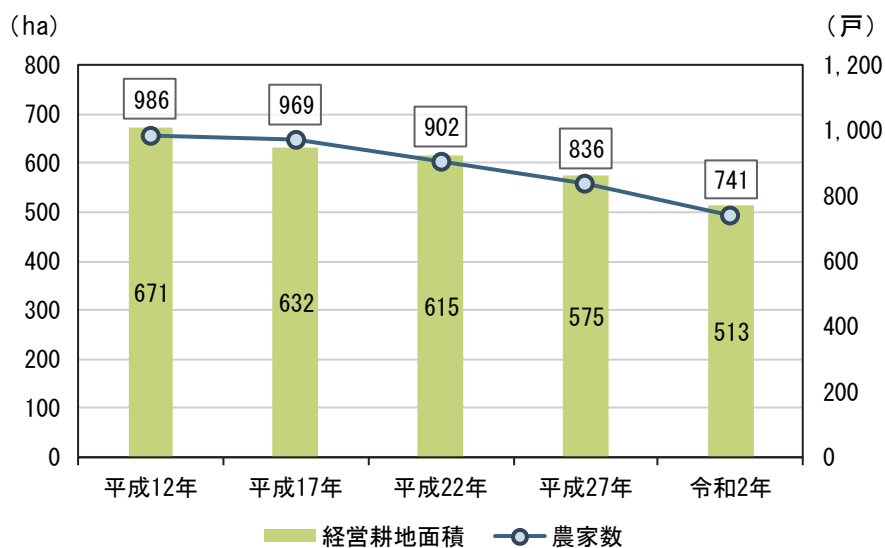


図 農家数・農家人口の推移

資料：農林業センサス

③商業

- ・事業所数、従業員数とも減少傾向（下げ止まり感あり）
- ・年間商品販売額は平成 11（1999）年をピークに減少、令和 3（2021）年現在でピーク比 51.0%
- ・面積当たりの販売額の推移は、平成 19（2007）年に底を打ったが平成 26（2014）年から平成 28（2016）年にかけて大きく上昇も、令和 3（2021）年に再び下落

卸売業と小売業を合計した商業全体における事業所数の推移をみると、平成 6（1994）年より一貫して減少していましたが、平成 28（2016）年に微増に転じた後、令和 3（2021）年に再び減少しました（平成 6（1994）年の約 47.8%）。一方、従業員数の推移は、平成 14（2002）年をピークに、平成 24（2012）年まで概ね減少傾向でしたが、平成 28（2016）年に微増に転じた後、令和 3 年に再び減少しました（平成 14（2002）年の約 59.7%）。

平成 9（1997）年から増加傾向にあった年間商品販売額は、平成 11（1999）年（92,114 百万円）をピークに減少傾向となり、平成 24（2012）年には平成 11（1999）年の約半分となる 45,396 百万円まで縮小し、令和 3（2021）年は 46,984 百万円（ピーク比 51.0%）となっています。

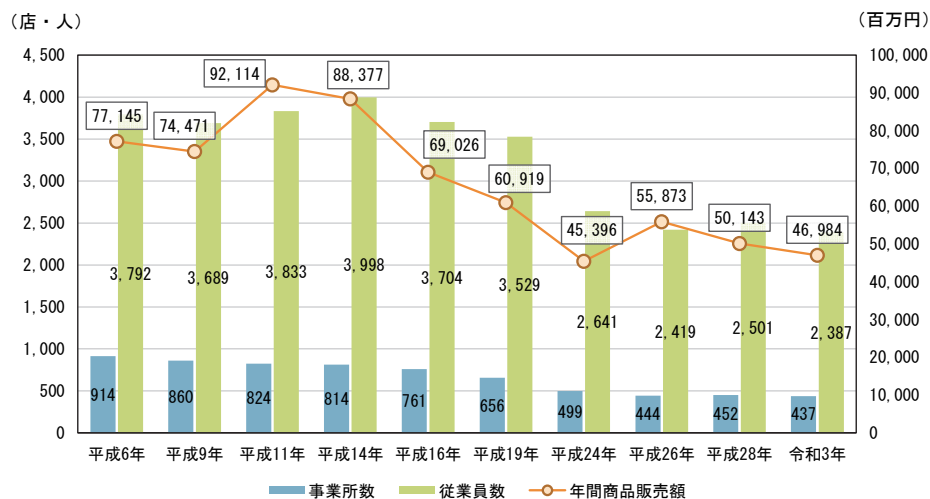


図 事業所・従業者数、年間商品販売額の推移

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査

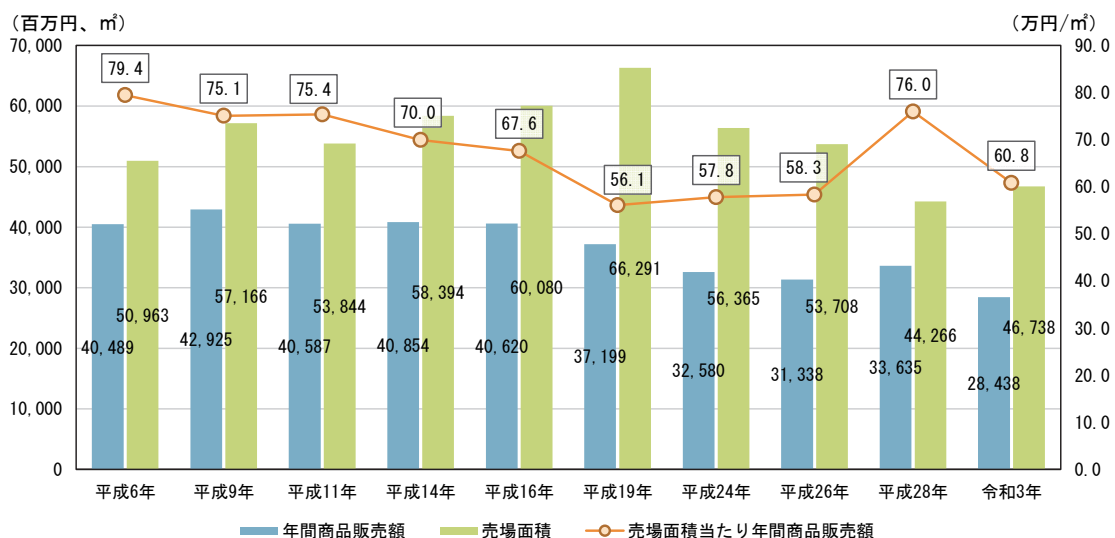


図 小売業年間商品販売額、小売業販売面積、面積当たりの販売額の推移

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査

④工業

- ・ 製造品出荷額等は平成 25（2013）年から平成 30（2018）年は一貫して増加傾向、令和元年に微減
- ・ 事業所は概ね 50 事業所で推移
- ・ 従業員数は平成 25（2013）年から平成 29（2017）年まで増加、平成 30（2018）年以降減少
- ・ 製造品出荷額等が最も高いのは生産用機械器具製造業

最近 10 年間の本市の工業生産の状況（従業者 4 人以上の事業所）をみると、製造品出荷額等は平成 25 年から平成 30 年は一貫して増加傾向にありましたが、令和元年に微減しています。

事業所は概ね 50 事業所で推移しており、従業員数は平成 25 年から平成 29 年まで増加し、平成 30 年以降減少しています。

産業中分類別に令和元年の製造品出荷額等をみると、生産用機械器具製造業が 127 億円で最も多くなっており、次いで金属製品製造業（85 億円）、化学工業（33 億円）の順となっています。

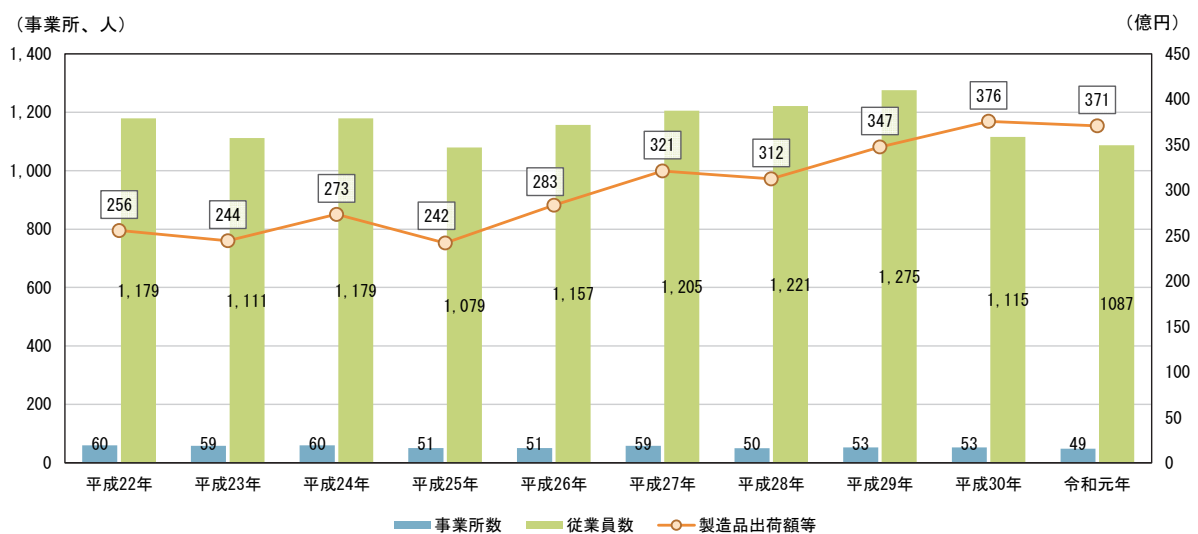


図 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

資料：工業統計調査、経済センサス活動調査

表 産業分類別主要製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等

産業分類名	事業所 (事業所)	従業者 (人)	製造品出荷額等 (万円)
生産用機械器具製造業	3	112	1,274,734
金属製品製造業	4	162	845,450
化学工業	3	74	333,994
食料品製造業	15	180	236,025
木材・木製品製造業（家具を除く）	7	132	171,578
その他の製造業	3	36	67,238
窯業・土石製品製造業	5	42	49,151

資料：令和元年工業統計調査

⑤漁業

- ・経営体数は平成 15（2003）年から平成 30（2018）年で半減
- ・兼業戸数は一貫して減少傾向、専業戸数は平成 20（2008）年に増加した後に減少
- ・平成 15（2003）年から平成 30（2018）年で 100 万円未満の経営体数は 1/3 まで減少する一方、100～500 万円未満、500～1,000 万円未満、1 億円～10 億円の経営体数は概ね横ばいで推移

本市の経営組織別経営体数をみると、平成 15（2003）年は 167 戸でありましたが、平成 30（2018）年には 79 戸と約半分にまで減少しています。

項目別にみると、兼業戸数は一貫して減少傾向にあり、専業戸数は平成 20（2008）年に増加した後に減少し、平成 30（2018）年には平成 15（2003）年の値と同程度になっています。

漁獲金額別経営体数は、平成 30（2018）年まで 500 万円未満の経営体数が概ね 80%以上を占めています。

平成 15（2003）年から平成 30（2018）年で 100 万円未満の経営体数は 1/3 まで減少する一方、100～500 万円未満、500～1,000 万円未満、1 億円～10 億円の経営体数は概ね横ばいで推移しています。

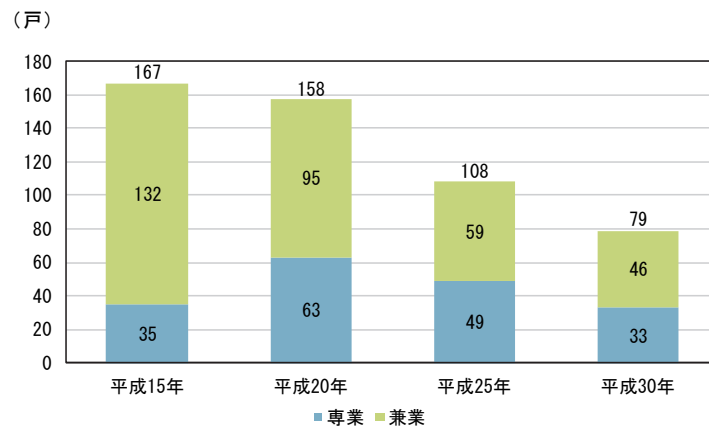


図 経営組織別経営体数

資料：漁業センサス

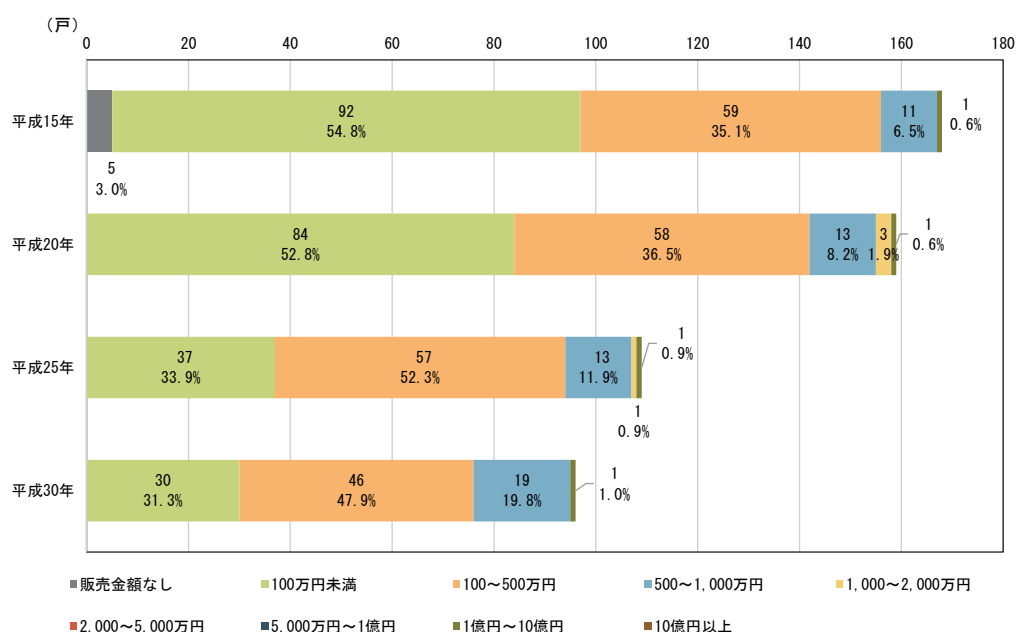


図 漁獲金額別経営体数

資料：漁業センサス

(5) 施設

①生活便利施設（商業、医療、福祉）と津波浸水想定区域

商業施設は、37箇所あるうちの26箇所(70%)が津波浸水想定区域内にあり、そのうち18箇所(49%)が浸水深1m以上の区域に立地しています。

医療施設は、29箇所あるうちの18箇所(62%)が津波浸水想定区域内にあり、そのうち15箇所(52%)が浸水深1m以上の区域に立地しています。

福祉施設は、28箇所あるうちの17箇所(61%)が津波浸水想定区域内にあり、そのうち14箇所(50%)が浸水深1m以上の区域に立地しています。

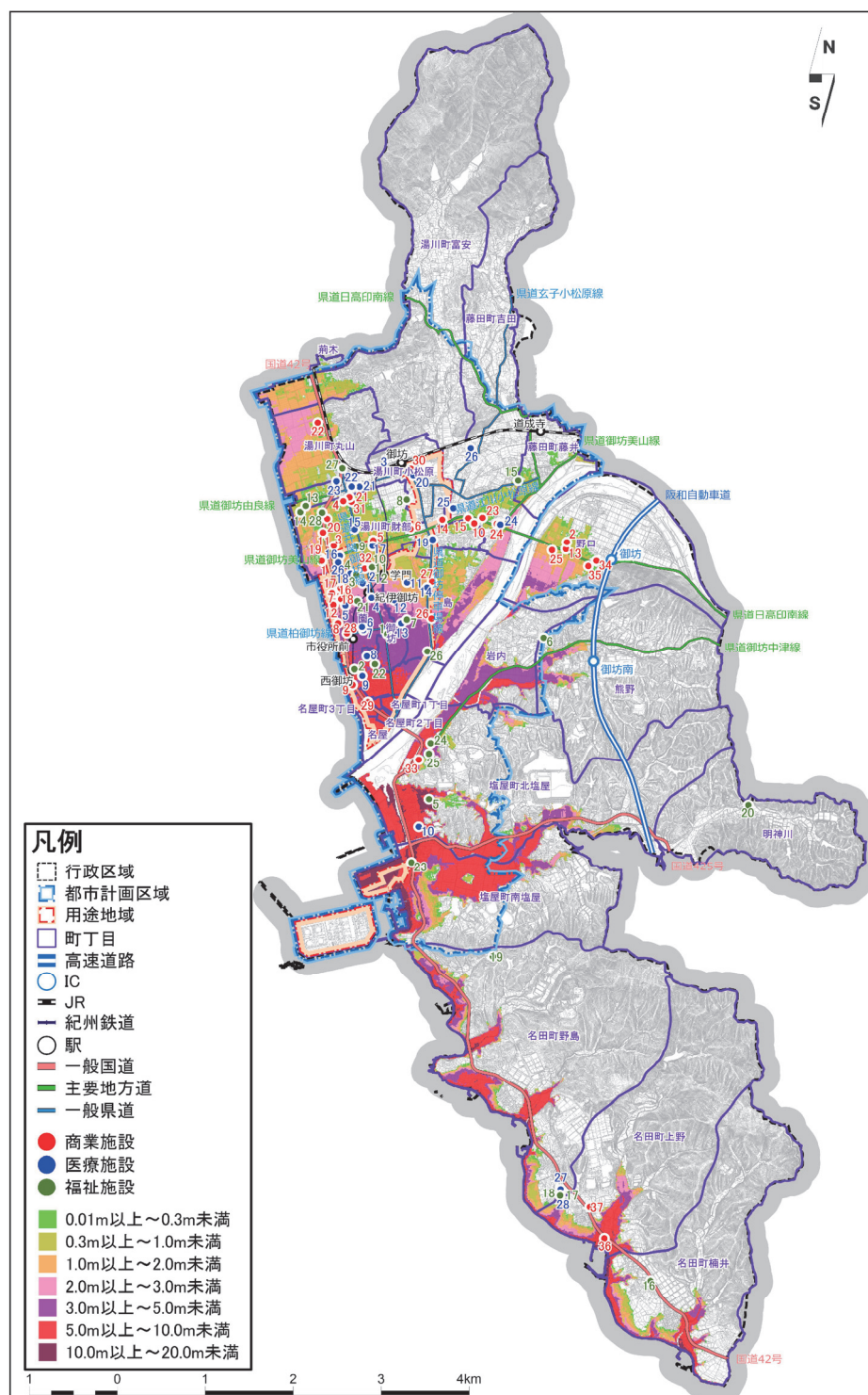


図 生活便利施設（商業、医療、福祉）と津波浸水想定区域

資料：商業施設（大規模店舗総覧、大規模小売店舗立地法の届出状況について（経済産業省）、トクバイ）、医療施設（御坊市オープンデータ）、福祉施設（御坊市オープンデータ、和歌山県福祉保健施設一覧、国土数値情報、介護事業所・生活関連情報検索）

表 商業施設一覧

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	オークワ ロマンシティ御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部181	20	洋服の青山 和歌山御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部246-22
2	コーナン 御坊インター店	和歌山県御坊市野口字堤578-1	21	西松屋チェーン 御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部字深州46-4
3	コメリ ハード＆グリーン 御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部616-1	22	スーパードラッグキリン 御坊湯川丸山店	和歌山県御坊市湯川町丸山78-1
4	スーパーデリシャスヒロ 御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部50-1	23	セリア 御坊インター店	和歌山県御坊市藤田町吉田350-1
5	塩路家具	和歌山県御坊市湯川町財部673-3	24	ワークマン 御坊店	和歌山県御坊市藤田町吉田字大河原329-1
6	エバグリーン 御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部840-1	25	しまむら 御坊店	和歌山県御坊市野口1015-1
7	マツゲン 御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部53-4	26	ローソン 御坊島店	和歌山県御坊市島483-1
8	ジョーシン 御坊店	和歌山県御坊市園336-1	27	ファミリーマート 御坊島	和歌山県御坊市島696-1
9	NEX 御坊店	和歌山県御坊市園575-1	28	ローソン 御坊園店	和歌山県御坊市園字松原田350-3
10	スーパードラッグキリン 御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部1053-1	29	ローソン 御坊名屋町北店	和歌山県御坊市名屋町3-6-2
11	ディスカウントドラッグコスモス 御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部229	30	ローソン 御坊駅前店	和歌山県御坊市湯川町小松原字平畑坪367-2
12	ブライスカット 御坊店	和歌山県御坊市園318-2	31	ファミリーマート 御坊湯川町財部	和歌山県御坊市湯川町財部46-4
13	ケーズデンキ 御坊店	和歌山県御坊市野口590-3	32	ローソン 御坊財部店	和歌山県御坊市湯川町財部725-3
14	グルメシティ 御坊店	和歌山県御坊市湯川町小松原212	33	ファミリーマート 御坊塩屋	和歌山県御坊市塩屋町北塩屋711-1
15	産直市場よってって ごぼう店	和歌山県御坊市藤田町吉田537-1	34	ファミリーマート 御坊インター前	和歌山県御坊市野口340-1
16	スーパードラッグキリン 御坊国道店	和歌山県御坊市園38-1	35	ローソン 御坊インター店	和歌山県御坊市野口352-1
17	ジップドラッグ 御坊店	和歌山県御坊市園53-4	36	セブンイレブン 御坊名田	和歌山県御坊市名田町上野345-4
18	バリミキ 御坊店	和歌山県御坊市園74-2	37	ローソン 御坊名田町店	和歌山県御坊市名田町上野字岨ノ前1330
19	メガネの田中 ロマンシティ御坊店	和歌山県御坊市湯川町財部181 オークワ・ロマンシティ御坊店1F			

資料：大規模店舗総覧、大規模小売店舗立地法の届出状況について（経済産業省）、トクバイ

表 医療施設一覧

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	ひだか病院	和歌山県御坊市園116-2	15	小池内科	和歌山県御坊市湯川町財部516-3
2	社会医療法人黎明会 北出病院	和歌山県御坊市湯川町財部728-4	16	T-cubeメディカルクリニック	和歌山県御坊市湯川町財部646-11
3	整形外科北裏病院	和歌山県御坊市湯川町小松原454	17	深谷外科医院	和歌山県御坊市湯川町財部670-1
4	田中クリニック	和歌山県御坊市園271	18	御坊なかむらクリニック	和歌山県御坊市湯川町財部715
5	天津医院	和歌山県御坊市園308-7	19	いえなが小児科	和歌山県御坊市湯川町財部937-5
6	池田内科クリニック	和歌山県御坊市園381-6	20	中島医院	和歌山県御坊市湯川町小松原380-11
7	中井こどもクリニック	和歌山県御坊市園414-15	21	ながおクリニック	和歌山県御坊市湯川町小松原531-1
8	高辻内科胃腸科	和歌山県御坊市園489-5	22	おくだこどもクリニック	和歌山県御坊市湯川町小松原551-4
9	山羽胃腸科内科	和歌山県御坊市園652-2	23	紀伊クリニック	和歌山県御坊市湯川町小松原615-1
10	もりばた医院	和歌山県御坊市塩屋町北塩屋1087	24	中紀クリニック	和歌山県御坊市藤田町吉田324-1
11	松下内科	和歌山県御坊市島114-6	25	塩路内科胃腸科	和歌山県御坊市藤田町吉田621
12	西本医院	和歌山県御坊市島174-13	26	上田内科循環器科	和歌山県御坊市藤田町吉田851-9
13	井本内科	和歌山県御坊市園232-8	27	おおたにクリニック	和歌山県御坊市名田町野島1-7
14	むらがき心療内科皮膚科クリニック	和歌山県御坊市島646-1	28	博愛診療所	和歌山県御坊市名田町野島1-9

資料：御坊市オープンデータ

表 福祉施設一覧

番号	名称	中分類	所在地	番号	名称	中分類	所在地
1	三和デイサービス本町店	高齢者福祉施設	園198-8	15	認知症対応型デイサービスあがら花まる	高齢者福祉施設	藤田町藤井2118-6
2	やまばデイサービスセンター	高齢者福祉施設	園564-1	16	リハブライド きのくに	高齢者福祉施設	名田町楠井2204-1
3	コミュニティケアキタデゆうゆうI	高齢者福祉施設	園98-3	17	老人保健施設リパティ博愛	高齢者福祉施設	名田町野島1-9
4	コミュニティケアキタデゆうゆうII	高齢者福祉施設	園98-3	18	日高博愛園デイサービスセンター	高齢者福祉施設	名田町野島1-9
5	日高博愛園しおや	高齢者福祉施設	塩屋町北塩屋1246	19	日高博愛園第2デイサービスセンター	高齢者福祉施設	名田町野島3321-3
6	デイサービスセンターごぼうの郷	高齢者福祉施設	熊野44-4	20	明神の郷	高齢者福祉施設	明神川646
7	博愛園デイサービスセンター春日	高齢者福祉施設	島221-2	21	多機能型事業所はな	障害者福祉施設	園290-2
8	デイサービスケアビレッジ御坊	高齢者福祉施設	湯川町財部377-6	22	通園みらい	障害者福祉施設	園500
9	ケアビレッジデイサービス歩	高齢者福祉施設	湯川町財部662-1	23	太陽作業所 菜の花作業所	障害者福祉施設	塩屋町南塩屋450-7
10	フィットネスデキタデRe	高齢者福祉施設	湯川町財部728-4	24	ケアステーションみなど	障害者福祉施設	塩屋町北塩屋667-7
11	デイサービスセンターキタデ	高齢者福祉施設	湯川町財部728-4	25	リハテラスひだか	障害者福祉施設	塩屋町北塩屋693-3
12	ナッシングデキタデ Smile	高齢者福祉施設	湯川町財部728-4	26	太陽ホーム	障害者福祉施設	島384
13	三和デイサービス小松原店	高齢者福祉施設	湯川町小松原599-12	27	紀中障害者就業・生活支援センター 「わーくねっと」	障害者福祉施設	湯川町丸山478-1
14	三和デイサービス	高齢者福祉施設	湯川町小松原607-4	28	放課後等デイサービスらん	障害者福祉施設	湯川町財部70-1

資料：御坊市オープンデータ、和歌山県福祉保健施設一覧、国土数値情報、介護事業所・生活関連情報検索

②その他施設（製造業等、産業関連団体、観光・集客、公共公益）と津波浸水想定区域

製造業等施設は、86箇所あるうちの58箇所（67%）が津波浸水想定区域内にあり、そのうち51箇所（59%）が浸水深1m以上の区域に立地しています。

産業関連団体施設は、40箇所あるうちの23箇所（58%）が津波浸水想定区域内にあり、そのうち20箇所（50%）が浸水深1m以上の区域に立地しています。

観光・集客施設は、8箇所あるうちの3箇所（38%）が津波浸水想定区域内にあり、そのすべてが浸水深1m以上の区域に立地しています。

公共公益施設は、23箇所あるうちの15箇所（65%）が津波浸水想定区域内にあり、そのうち13箇所（57%）が浸水深1m以上の区域に立地しています。

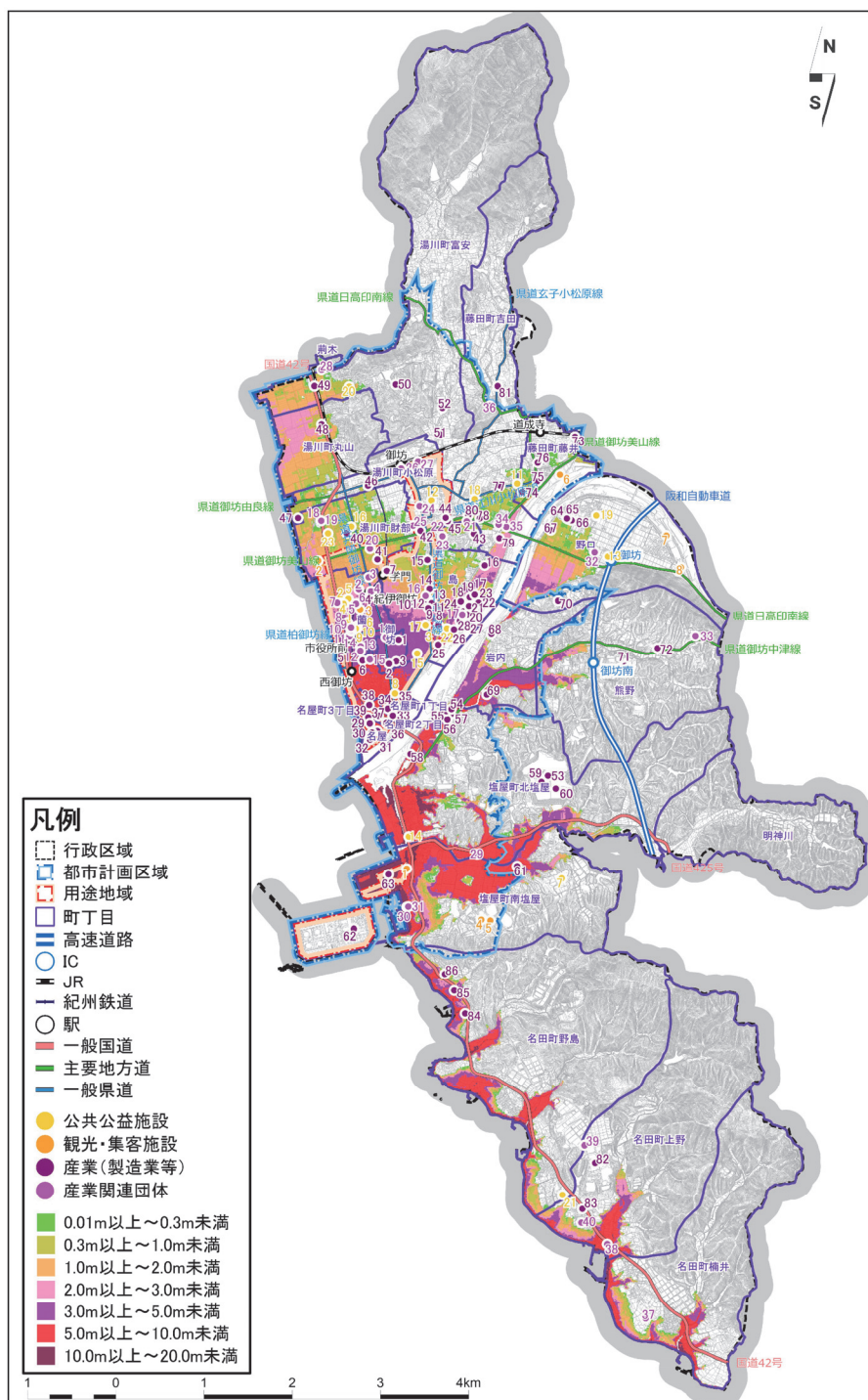


図 その他施設（製造業等、産業関連団体、観光・集客、公共公益）と津波浸水想定区域

資料：製造業等及び産業関連団体（商工会議所名簿、iタウンページ）、
観光・集客施設（国土数値情報）、公共公益施設（御坊市オープンデータ）

表 製造業等一覧

番号	事業所名	所在地	番号	事業所名	所在地
1	ヒロセ印刷所	御坊11	44	関セラ商会	湯川町小松原209-1
2	堀河屋林業（株）	御坊85	45	（有）オガワ包装資材	湯川町小松原246-3
3	（株）川瀬林業	御坊91	46	クボリ毛皮協業組合	湯川町小松原524-1
4	浜口友文堂印刷所	藺273	47	C.S studio	湯川町小松原610-11
5	（株）おかだプリント	藺460-3	48	武藤商事	湯川町丸山77-1
6	（有）隆文社印刷所	藺512	49	明樹（株）	湯川町富安1736-4
7	関西化学（株）	島62-4	50	芝田製作所	湯川町富安2041
8	（株）オーシャン・ライフ	島441-2	51	（株）一水産	湯川町富安2256-3
9	（株）春日鋳工所	島498-3	52	紀州綜合食品（株）御坊工場	湯川町富安2318
10	塩路（株）	島545	53	紀州ファスナー工業（株）	塩屋町北塩屋521-1
11	（株）山本スクラップ	島584	54	日高生コンクリート（株）	塩屋町北塩屋676
12	大洋化学（株）	島584	55	日高港湾浚渫（株）／岩内出張所	塩屋町北塩屋676-18
13	大洋技研（株）	島584	56	（株）十河木材	塩屋町北塩屋676-92
14	そめみち染物旗店	島644-3	57	三和セルロシン（株）御坊工場	塩屋町北塩屋676-192
15	藤並畳店	島780-4	58	丸紀木材工業（株）	塩屋町北塩屋682
16	（株）古田鉄工所	島912-1	59	アズビル金門和歌山（株）	塩屋町北塩屋1825-5
17	（株）宮路製材所	島946-5	60	恵和（株）和歌山テクノセンターIII	塩屋町北塩屋1825-17
18	谷脇製材所	島1000	61	（有）きいほあん	塩屋町南塩屋1539-1
19	木本興業	島1005-2	62	（株）木内計測関西工事部 和歌山営業所御坊作業所	塩屋町南塩屋1-3-A-106
20	西田合成（株）	島1008-6	63	（株）嶋造船所	塩屋町南塩屋450-23
21	細田産業	島1008-10	64	（有）瀬戸印刷	野口532-3
22	（有）ニットウパーク産業	島1008-25	65	（有）小池園芸	野口543
23	（有）イシカワ工業	島1008-30	66	（有）日高シードリング	野口543
24	ニシプラ（株）	島1031	67	（株）アクオス	野口1070-1
25	（株）柴本製箱所	島1105-10	68	（株）レジェ	岩内41-1
26	日高炭化（有）	島1114	69	（有）アースワーク	岩内450-2
27	ニシダ化工（株）	島字外川原1115-36	70	小山木工所	岩内1076
28	田端工業所	島1115-49	71	岡垣内工業（株）	熊野457
29	西平製材	名屋176-6	72	（株）大阪空気機械製作所御坊工場	熊野560
30	（株）柚一／製材第一工場	名屋192	73	（株）ホロン精工	藤田町藤井1951-1
31	（有）陽木	名屋205	74	原一水園	藤田町藤井2130-4
32	（株）ナヤパーク	名屋231	75	芝板金工業所	藤田町藤井2210
33	（有）nakatx	名屋町1-7-4	76	旭化成ケミカルズ（株）和歌山工場	藤田町藤井2255
34	畑崎鉄工所	名屋町1-8-2	77	ヨシダエルシス（株）	藤田町吉田155
35	大江テント工業	名屋町1-9-2	78	木下塗料（株）	藤田町吉田353-1
36	田淵テント商会	名屋町2-8-1	79	塩崎彦一	藤田町吉田430
37	（株）柚一日高リフト工場（本社）	名屋町2-9-1	80	アイエス（株）	藤田町吉田549-5
38	（株）柚一／製材第二工場	名屋町3-6-3	81	津村養鶏場	藤田町吉田1292
39	紀伊生コン（株）	名屋町3-9-6	82	日建産業（株）和歌山工場	名田町上野1104-4
40	（株）柴本製箱所	湯川町財部520-2	83	観光農園ひだか	名田町上野1336-2
41	天田屋味噌工場	湯川町財部740-1	84	中井章司	名田町野島3163
42	（株）オリロク	湯川町財部836-3	85	（有）ヤマダ	名田町野島3260
43	森岡造園	湯川町財部1041-3	86	松本鉄工所	名田町野島3395

資料：商工会議所名簿、iタウンページ

表 産業関連団体一覧

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	御坊市中町一丁目商店街	御坊145-2	21	和歌山県広域生コンクリート協同組合 日高支部	湯川町財部1057-2
2	日高建設業協同組合	菌106-4	22	御坊市管工事業協同組合	湯川町財部1107-12
3	本町4丁目商店街	菌121-11	23	社団法人和歌山県浄化そう協会日高支部	湯川町財部1107-12
4	御坊市本町商店街振興組合	菌272	24	紀州農業協同組合湯川支店	湯川町小松原266-2
5	日高有田地域産業保健センター	菌290	25	日高卸売市場（株）	湯川町小松原292
6	日高医師会館	菌290-4	26	御坊駅前商店街振興組合	湯川町小松原410-1
7	御坊小売酒販組合	菌315-1	27	日高川土地改良区	湯川町小松原414-11
8	御坊市社会福祉協議会	菌350	28	日高運輸企業組合	荊木151-1
9	御坊商工会議所	菌350-28	29	紀州農業協同組合塩屋経済取次所	塩屋町北塩屋1438-6
10	御坊市スタンプ事業協同組合	菌350-28	30	紀州日高漁業協同組合塩屋荷揚げ場	塩屋町南塩屋450-4
11	御坊市商店街振興組合連合会	菌350-28	31	紀州日高漁業協同組合本所	塩屋町南塩屋450-4
12	日高木材協同組合	菌397	32	紀州農業協同組合野口事業所	野口458-2
13	新栄商店街	菌402	33	御坊運輸企業組合	熊野664-65
14	公益社団法人御坊納税協会	菌419-9	34	日高環境衛生協同組合	藤田町吉田328-1
15	松原通商店街	菌510	35	御坊自動車整備協同組合	藤田町吉田422
16	日高米穀商業協同組合	島584	36	御坊中小企業振興組合	藤田町吉田2265-2
17	御坊プラスチック団地協同組合	島1031-8	37	紀州農業協同組合名田育苗所	名田町楠井379
18	日高地方石油協同組合	湯川町財部240-5	38	紀州農業協同組合名田支店	名田町上野345-1
19	和歌山県石油商業組合日高支部	湯川町財部240-5	39	紀州農業協同組合がいなポート	名田町上野1077-8
20	紀州農業協同組合	湯川町財部668-1	40	御坊制服組合	名田町上野1462-1

資料：商工会議所名簿、iタウンページ

表 観光・集客施設一覧

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	日高港新エネルギーパーク	塩屋町南塩屋450-10	5	御坊総合運動公園	塩屋町南塩屋1123
2	ジストシネマ御坊	湯川町財部181（ロマンシティ御坊3F）	6	日高川ふれあい水辺公園（日高川右岸側）	藤田町藤井
3	御坊市民文化会館	菌258-2	7	日高川ふれあい水辺公園（日高川左岸側）	藤田町藤井
4	御坊市歴史民俗資料館	塩屋町南塩屋1123	8	野口オートキャンプ場	野口（河川敷）

資料：国土数値情報

表 公共公益施設一覧

番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	市役所	菌350	13	野口コミュニティセンター	野口254
2	市立体育館	菌76	14	塩屋公民館	塩屋町北塩屋1121
3	市立武道館	島426-1	15	菌会館	島358-1
4	市立相撲場	菌310	16	財部会館	湯川町財部485
5	勤労青少年ホーム	菌76	17	島会館	島486-1
6	教育委員会事務局	菌367	18	藤田会館	藤田町吉田286-1
7	給食センター	塩屋町南塩屋1644-3	19	野口会館	野口1185-2
8	市立児童センター	菌897	20	湯川文化会館	湯川町富安1913-7
9	中央公民館	菌378-1	21	市民サービスコーナー	名田町野島1-8
10	市立図書館	菌378-1	22	斎場	島字外川原1073-1
11	藤田コミュニティセンター	藤田町藤井2119-1	23	消防庁舎	湯川町財部221-1
12	湯川コミュニティセンター	湯川町小松原317-1			

資料：御坊市オープンデータ

③避難施設と津波浸水想定区域

避難施設は、82箇所あるうちの38箇所(46%)が津波浸水想定区域内にあり、そのうち30箇所(37%)が浸水深1m以上の区域に立地しています。

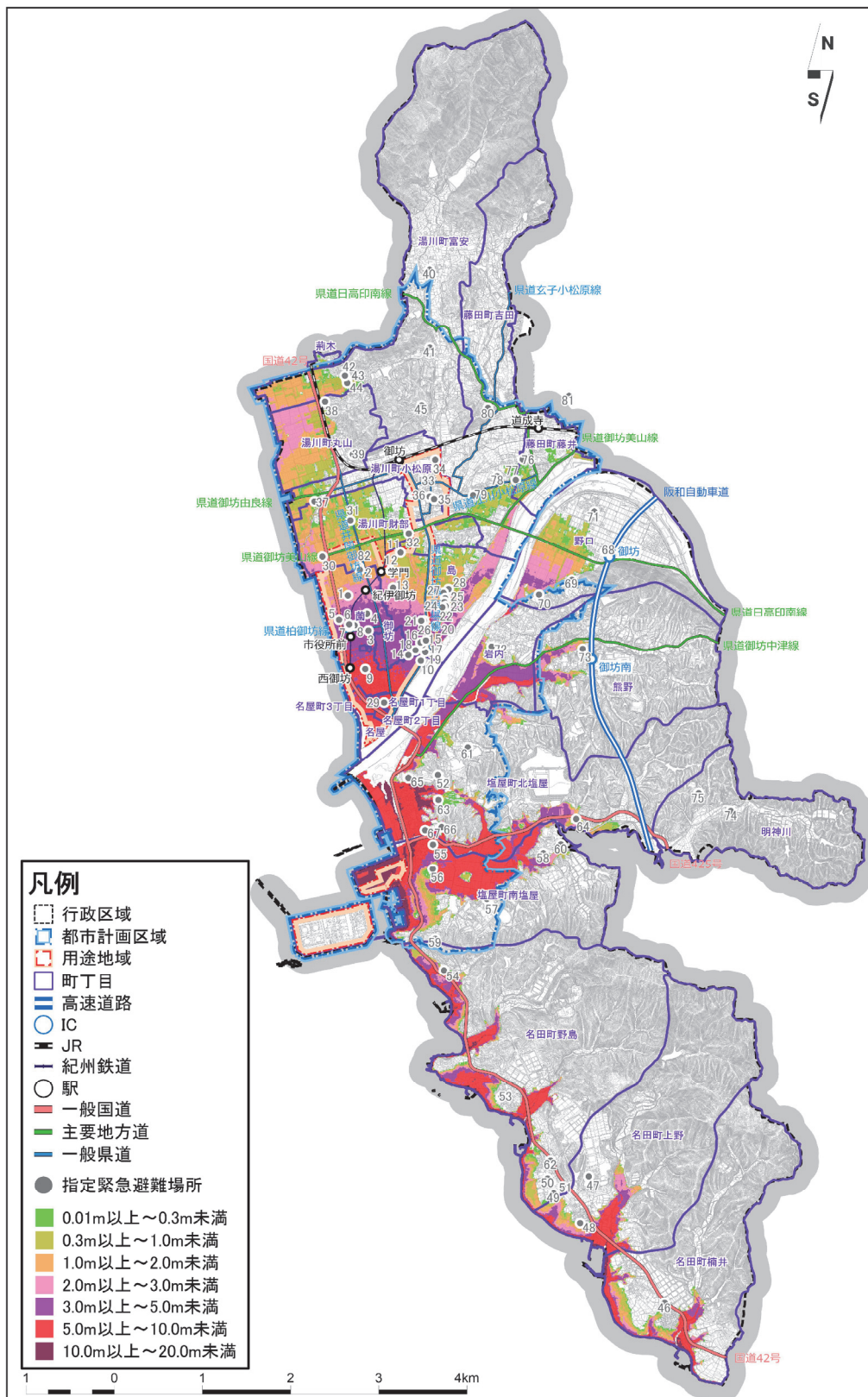


図 避難施設（指定緊急避難場所）と津波浸水想定区域

資料：御坊市オープンデータ

表 避難施設一覧

番号	名称	避難所分類	所在地	番号	名称	避難所分類	所在地
1	勤労青少年ホーム	地域	菰76	42	西富安集会所	地域	湯川町富安1659-2
2	日高看護専門学校	緊急	菰116-2	43	湯川文化会館	地域	湯川町富安1913-7
3	西日本電信電話(株)御坊別館ビル	緊急	菰210-1	44	しらゆり保育園	地域	湯川町富安1913-7
4	御坊小学校	拠点	菰226	45	鳳生寺	緊急	湯川町富安2133
5	ジョーシン御坊店	緊急	菰336-1	46	楠井会館	地域	名田町楠井1940-2
6	福祉センター	拠点・福祉	菰350	47	名田中学校	拠点	名田町上野1348-15
7	御坊商工会館	緊急	菰350-28	48	上野会館	地域	名田町上野1569-3
8	御坊市中央公民館	地域	菰378-1	49	名田幼稚園	地域	名田町野島1-3
9	新町地区津波避難タワー	緊急	菰678	50	国立和歌山高専	拠点	名田町野島77
10	菰地区津波避難タワー	緊急	菰980-2	51	名田小学校	拠点	名田町野島326
11	御坊中学校	拠点	島10	52	加尾会館	地域	名田町野島358
12	日高高等学校	拠点	島45	53	野島会館	地域	名田町野島1747
13	税務署御坊寮	緊急	島84-2	54	祓井戸会館	地域	名田町野島3403
14	わかば保育園	地域	島333	55	塩屋小学校	拠点	塩屋町南塩屋17
15	日高川ハイツ パラ棟	緊急	島352	56	関西電力(株)社宅前駐車場	緊急	塩屋町南塩屋243
16	日高川ハイツ にじ棟	緊急	島352	57	御坊総合運動公園駐車場	緊急	塩屋町南塩屋1122
17	日高川ハイツ あじさい棟	緊急	島352	58	森岡会館	地域	塩屋町南塩屋1915-2
18	園会館	地域	島358-1	59	観音山	緊急	塩屋町南塩屋地内
19	日高川ハイツ ゆり棟	緊急	島366	60	須佐神社	緊急	塩屋町南塩屋森岡地内
20	市立武道館	地域	島426-1	61	河南中学校	拠点	塩屋町北塩屋300
21	つばさ保育園	地域	島430-2	62	近畿大学先端技術総合研究所 植物センター跡地	緊急	塩屋町北塩屋768-8
22	グリーンハイツ 秋桜棟	緊急	島454	63	日高博愛園しおや	緊急・福祉	塩屋町北塩屋1246
23	グリーンハイツ すみれ棟	緊急	島454	64	猪野々会館	地域	塩屋町北塩屋1973-8
24	グリーンハイツ カトレア棟	緊急	島454	65	北塩屋 上の芝 高台	緊急	塩屋町北塩屋地内
25	グリーンハイツ すずらん棟	緊急	島462-1	66	北塩屋 六豆山	緊急	塩屋町北塩屋王子神社裏
26	島会館	地域	島486-1	67	塩屋王子神社	緊急	塩屋町北塩屋地内
27	グリーンハイツ さくら棟	緊急	島614-2	68	野口コミュニティセンター	地域	野口254
28	丁畑集会所	地域	島618-2	69	野口小学校	拠点	野口756-1
29	名屋地区津波避難タワー	緊急	名屋町1丁目14-3	70	古森区集会所	地域	野口841-2
30	オークワロマンシティ御坊店	緊急	湯川町財部181	71	野口会館	地域	野口1185-2
31	財部会館	地域	湯川町財部485	72	岩内会館	地域	岩内139
32	湯川幼稚園	地域	湯川町財部831-1	73	熊野会館	地域	熊野988
33	紀央館高等学校	拠点	湯川町小松原43-1	74	明神川会館	地域	明神川615-3
34	湯川中学校	拠点	湯川町小松原50	75	明神川 春日山	緊急	明神川地内
35	湯川小学校	拠点	湯川町小松原179	76	藤田小学校	拠点	藤田町藤井2047-1
36	湯川コミュニティセンター	地域	湯川町小松原317-1	77	藤田コミュニティセンター	地域	藤田町藤井2119-1
37	小松原西会館	地域	湯川町小松原589-15	78	ヨシダエルシス(株)社屋屋上	緊急	藤田町吉田155
38	丸山 西山	緊急	湯川町丸山地内	79	藤田会館	地域	藤田町吉田286-1
39	丸山 宮山	緊急	湯川町丸山地内	80	吉田八幡神社	緊急	藤田町吉田地内
40	上富安集会場	地域	湯川町富安1028	81	大成中学校	拠点	日高川町大字土生1228-2
41	下富安集会場	地域	湯川町富安1481	82	きのくに信用金庫御坊営業部屋上	緊急	湯川町財部701

資料：御坊市オープンデータ

(6) 土地及び建物

① 土地利用

- ・都市計画区域内の土地利用は、自然的土地利用（53.3%）、都市的土地利用（46.7%）
- ・自然的土地利用は、田（18.3%）、山林（11.2%）、畑（9.7%）の順
- ・都市的土地利用は、住宅用地（15.3%）、道路用地（8.8%）、公益施設用地（6.8%）の順
- ・都市計画区域外は、森林（61.6%）、その他の農用地（16.4%）、田（9.4%）の順

本市の都市計画区域内の土地利用は、自然的土地利用が 53.3%、都市的土地利用が 46.7%となっています。

自然的土地利用で最も多いのは、田（18.3%）、次いで山林（11.2%）、畑（9.7%）の順となっています。

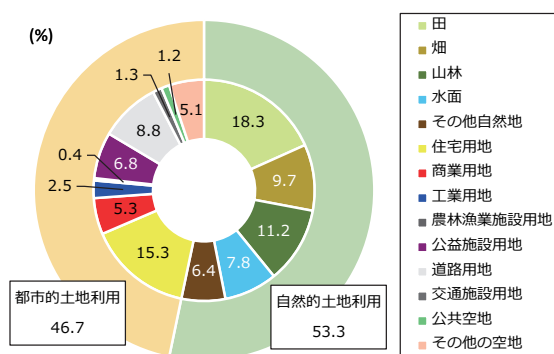
都市的土地利用で最も多いのは、住宅用地（15.3%）、次いで道路用地（8.8%）、公益施設用地（6.8%）の順となっています。

都市計画区域外の土地利用で最も多いのは、森林（61.6%）、次いでその他の農用地（16.4%）、田（9.4%）の順となっています。

土地及び建物を津波浸水区域との関係で捉えると、本市で人口集積が進展している御坊地域には、本市や近隣の生活利便を支える商業をはじめ、住宅用地となっています。また、北塩屋・南塩屋地区の国道 42 号沿道の市街地、名田町楠井の一部は、主に住宅用地となっているほか、南塩屋には関西電力火力発電所が沖合に突出しています。



【都市計画区域内】



【都市計画区域外】

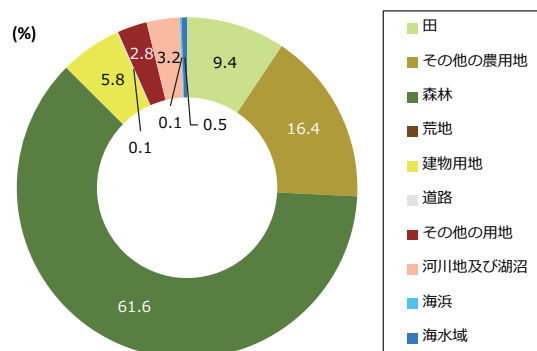


図 土地利用現況と津波浸水想定区域

資料：H28 都市計画基礎調査、国土数値情報

②地籍

- ・特に御坊地域や名田地域に未実施部分が多く存在（令和3（2021）年度進捗率 66.5%）
- ・令和4（2022）年度中に藤田地域で1箇所と名田地域で2箇所実施

本市の地籍調査は、平成11（1999）年度より開始され、特に御坊地域や名田地域に未実施部分が多く見受けられ、令和3（2021）年度までの進捗率は66.5%となっています。

令和4（2022）年度中に藤田地域で1箇所と名田地域で2箇所実施となっています。



図 地籍調査実施状況

資料：R3 和歌山県の地籍調査

③建物利用

- ・住宅系 63.8%、産業系 21.3%、公共公益系 10.5%、商業系 4.4%、その他 0.1%
- ・住宅系は、住宅（57.0%）、店舗等併用住宅（3.4%）、共同住宅（3.1%）の順
- ・産業系は、工場（8.9%）、農林漁業用施設（4.9%）、運輸倉庫施設（4.5%）の順

本市の都市計画区域内の建物利用は、住宅系が63.8%、産業系が21.3%、公共公益系が10.5%、商業系が4.4%、その他が0.1%となっています。

住宅系で最も多いのは、住宅（57.0%）、次いで店舗等併用住宅（3.4%）、共同住宅（3.1%）の順となっています。

産業系で最も多いのは、工場（8.9%）、次いで農林漁業用施設（4.9%）、運輸倉庫施設（4.5%）の順となっています。

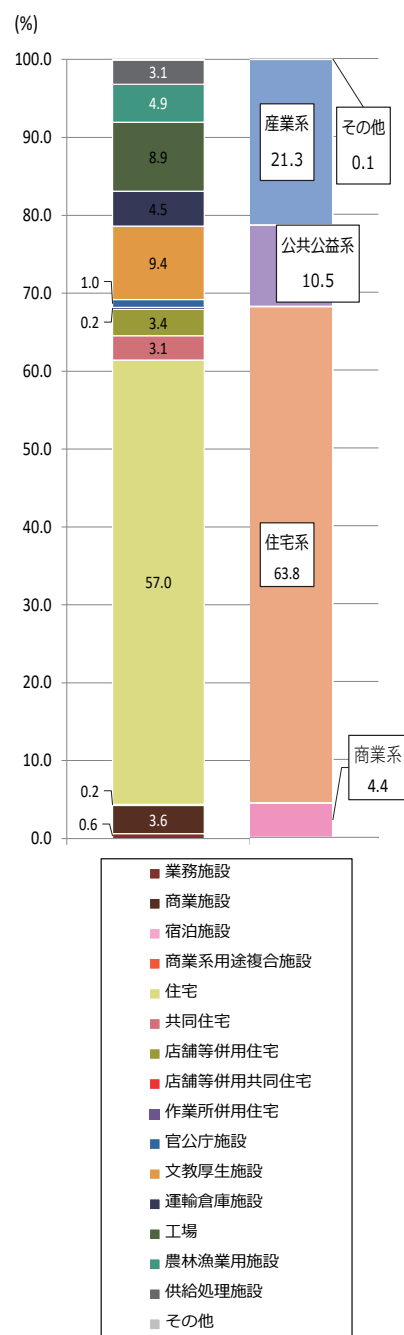


図 建物利用現況図と津波浸水想定区域

資料：H28 都市計画基礎調査

(7) 都市施設等

①道路

- ・計画総延長 18,580m、整備済延長 14,090m、整備率 75.8%
- ・幅員 15m 以上の道路延長 4.0%、幅員 4m 未満の狭い道路の延長 50.4%

都市計画道路の決定は、昭和 30（1955）年まで遡り、直近の見直しは令和 4（2022）年に行われ、現在では 8 路線、総延長 18,580m が都市計画区域内でのみ決定されており、整備済延長 14,090m で整備率 75.8%となっています。

道路幅員状況は、幅員 15m 以上の道路延長は、総延長に対してわずか 4.0%となっている一方、幅員 4m 未満の狭い道路の延長は、総延長に対して 50.4%と半分を占めています。

都市施設を津波浸水区域との関係で捉えると、御坊地域は寺内町として街区が昔から維持されてきたこともあり 4m 未満や 4m 以上 6m 未満の比較的細街路と呼ばれる狭い道路が多く占めています。また、被害が比較的深刻と予測される北塩屋・南塩屋地区の国道 42 号沿道の市街地も 4m 未満の狭い道路が多く占めています。

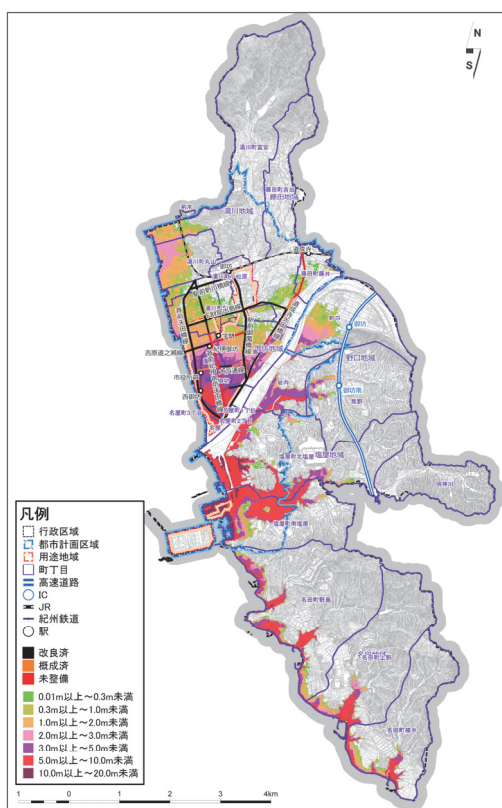


図 都市計画道路の整備状況と津波浸水想定区域

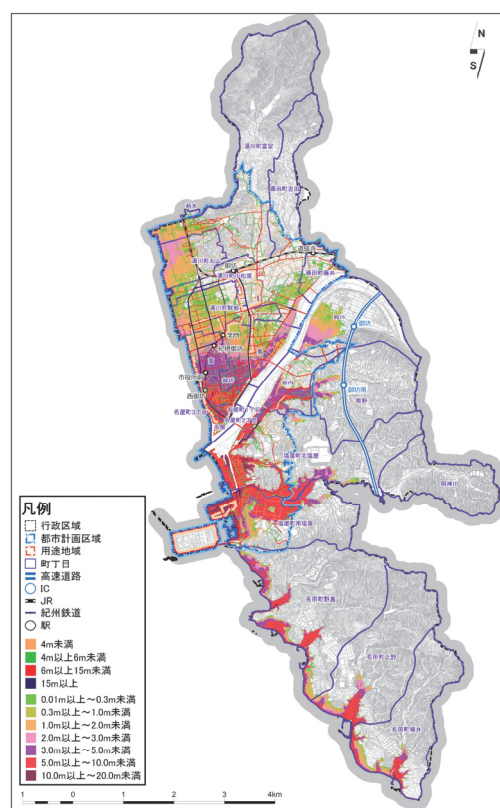


図 道路幅員と津波浸水想定区域

表 都市計画道路の整備状況

都市計画道路名	計画延長(m)	整備済(m)	整備率(%)
駅前新川橋線	870	870	100.0
吉原道之瀬線	1,200	550	45.8
下財部出島線	2,070	2,070	100.0
斉前天田橋線	3,060	3,060	100.0
斉前紀伊御坊天田橋線	2,760	1,180	42.8
駅前御園橋線	3,500	2,850	81.4
道成寺天田橋線	4,160	2,550	61.3
大浜通線	960	960	100.0
計	18,580	14,090	75.8

表 道路幅員の状況

	総延長	幅員15m以上	幅員6m以上 15m未満	幅員4m以上 6m未満	幅員4m未満
道路延長 (m)	273,894	11,058	48,502	76,423	137,911
総延長に対する割合 (%)	100	4.0	17.7	27.9	50.4

資料：H28 都市計画基礎調査

②公園

- ・都市計画公園は2箇所、計画総面積 17.4ha、整備完了済み
- ・都市計画緑地は1箇所、計画総面積 25.2ha、整備済み面積 20.09ha、整備率 87.7%
- ・一人当たりの公園面積 7.41 m²/人（和歌山県：7.30 m²/人）

都市計画公園は2箇所、総面積 17.4ha、都市計画緑地は1箇所、総面積 25.2ha が都市計画決定されており、都市計画公園は整備完了済み、都市計画緑地は整備済み面積 22.09ha、整備率 87.7%となっています。

本市の人口一人当たりの公園面積は 7.41 m²/人となっており、和歌山県の値（7.30/人）より上回っています。

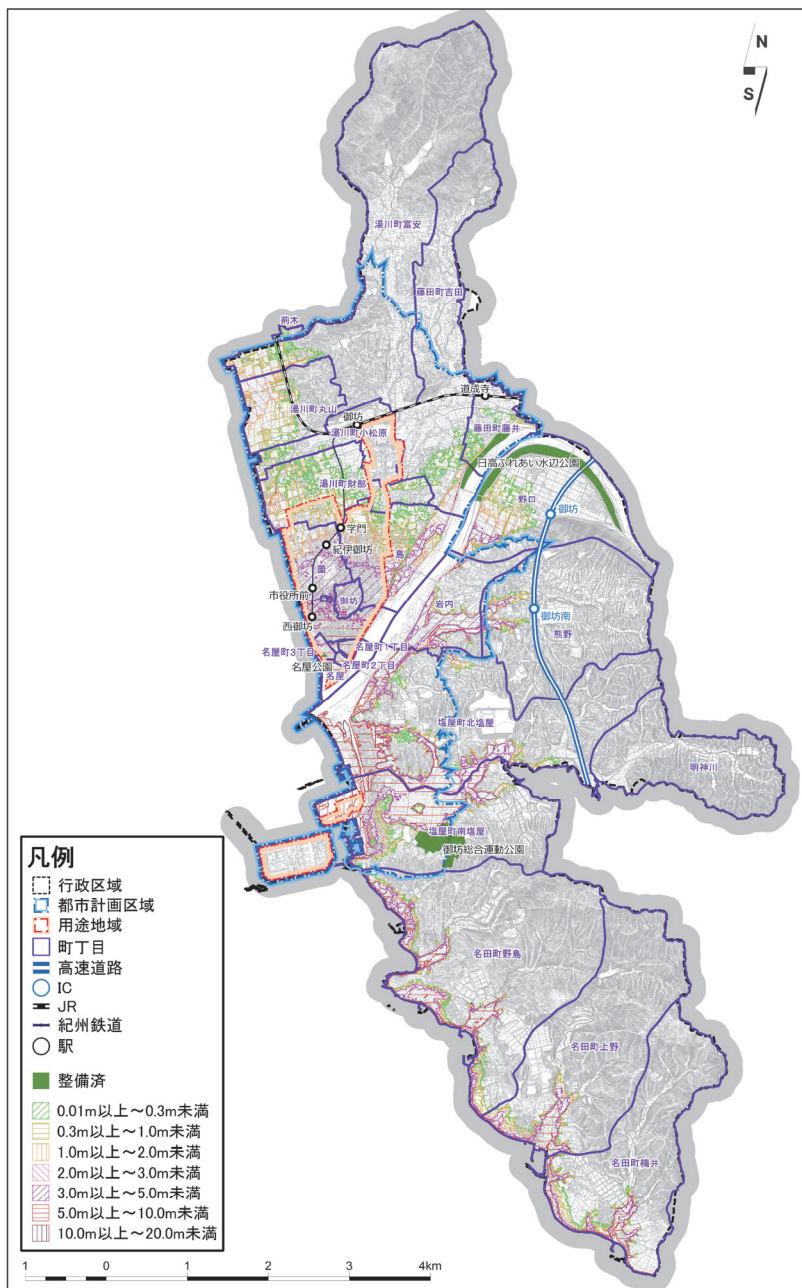


図 都市計画公園・緑地の整備状況と津波浸水想定区域

表 都市計画公園・緑地の整備状況

都市施設名称(公園)	計画面積(ha)	整備済(ha)	整備率(%)
名屋公園	0.2	0.2	100.0
御坊総合運動公園	17.2	17.2	100.0

都市施設名称(緑地)	計画面積(ha)	整備済(ha)	整備率(%)
日高川ふれあい水辺公園	25.2	22.09	87.7

表 一人当たりの公園面積

行政名	人口(人)	都市計画公園面積(m ²)	一人当たり公園面積(m ² /人)
御坊市	23,481	174,000	7.41
和歌山県	922,584	6,738,500	7.30

資料：H28 都市計画基礎調査、R2 国勢調査、R3 都市計画現況調査

③下水

- ・ 公共下水道は計画総面積 92.0ha、整備済み面積 9.0ha、整備率 9.8%
- ・ 都市下水路は計画総面積 254.0ha、整備済み面積 55.0ha、整備率 21.7%

公共下水道は計画面積 92.0ha、都市下水路は計画面積 254.0ha が都市計画決定されており、公共下水道は整備済み面積 9.0ha、整備率 9.8%であり、都市下水路は整備済み面積 55.0ha、整備率 21.7%となっています。

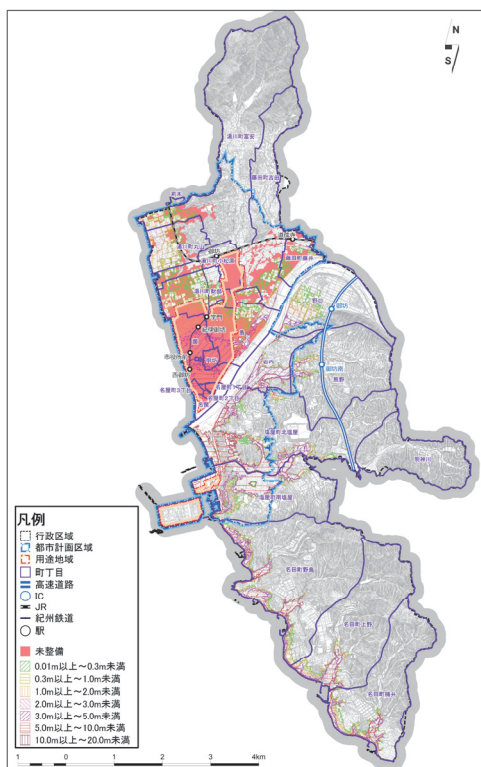


図 公共下水道の整備状況と津波浸水想定区域

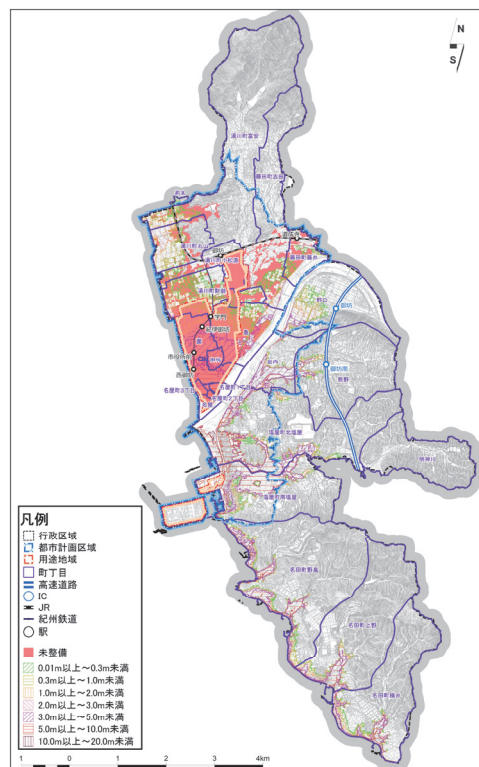


図 都市下水路の整備状況と津波浸水想定区域

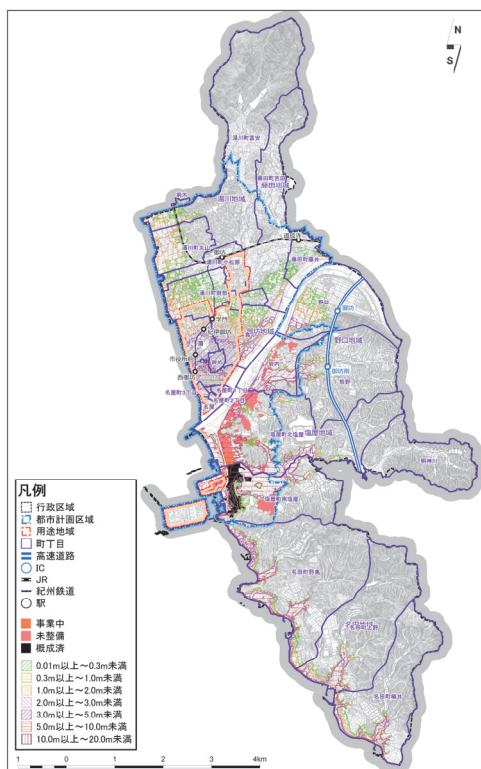


図 特定環境保全公共下水道の整備状況と津波浸水想定区域

表 公共下水道等の整備状況

都市施設名称(下水)	計画面積(ha)	整備済(ha)	整備率(%)
御坊市公共下水道	92	9	9.8
御坊市都市下水路	254	55	21.7

資料：H28 都市計画基礎調査

④その他

- ・その他の都市施設の駅前広場や日高地方卸売市場、御坊市火葬場、塩屋浄化センターは全て整備完了済み

その他の市民生活を支えるための施設としては、駅前広場や日高地方卸売市場、御坊市火葬場、塩屋浄化センターが都市計画決定されており、全て整備完了済みとなっています。

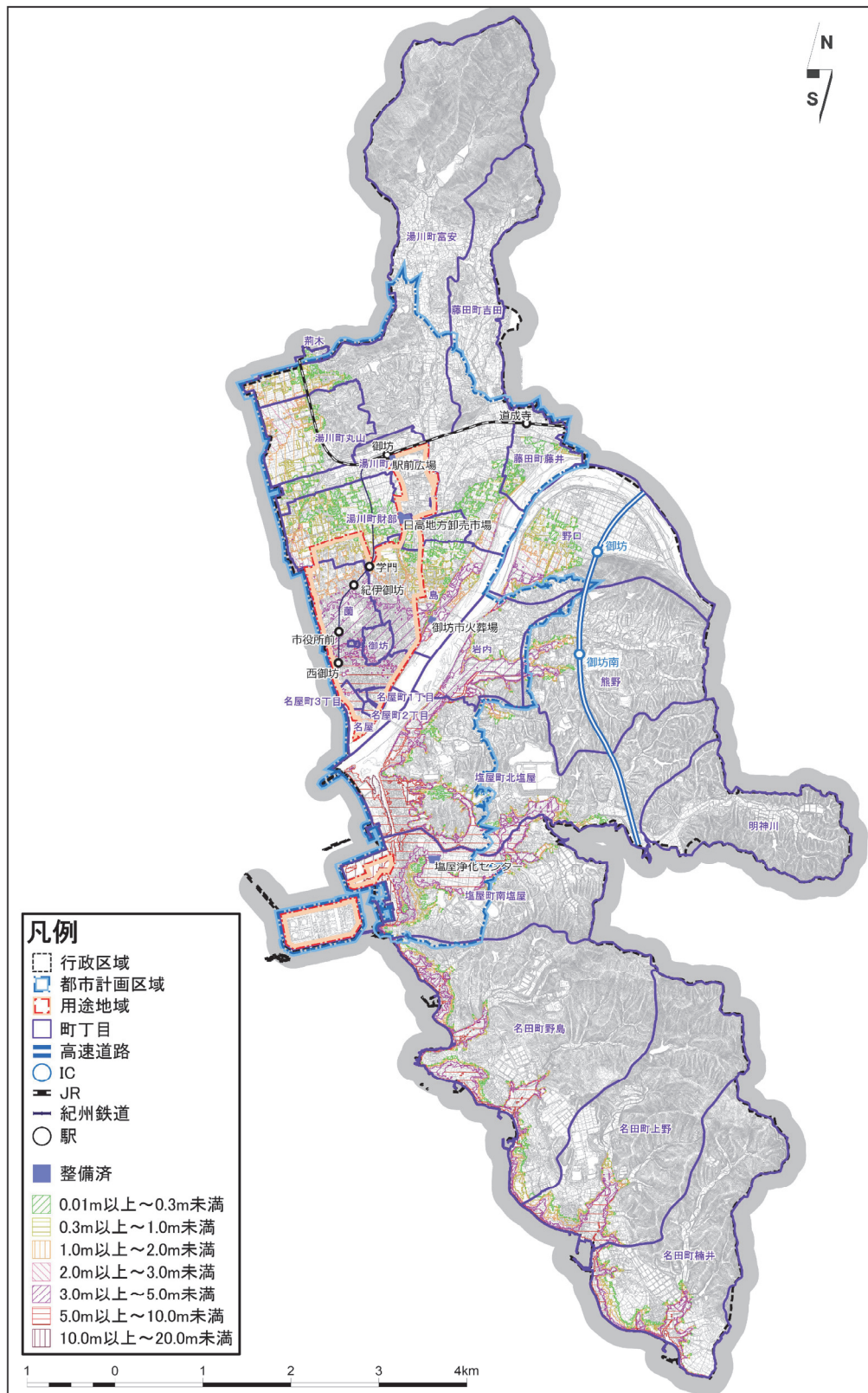


図 その他の都市施設の整備状況と津波浸水想定区域

資料：H28 都市計画基礎調査

(8) 交通

① ネットワーク

- ・ 市域東西部の南北を通る阪和自動車道及び国道 42 号
- ・ 市域を横断し隣接町（日高川町、日高町、美浜町）へつながる主要地方道日高印南線、主要地方道御坊美山線
- ・ 地域と隣接町（日高川町、日高町、美浜町）をつなぐ国道 425 号、主要地方道御坊中津線、主要地方道御坊由良線、一般県道玄子小松原線、一般県道柏御坊線
- ・ 地域をつなぐ一般県道井関御坊線、一般県道御坊停車場線、一般県道江川小松原線
- ・ 公共交通は JR と紀州鉄道、熊野御坊南海バスと中紀バス

本市の交通網図は、市域東部の南北を通る阪和自動車道、市域西部の南北を通る国道 42 号、日高町と日高川町へつながる主要地方道日高印南線、美浜町と日高川町へつながる主要地方道御坊美山線、塩屋地域と日高川町をつなぐ国道 425 号及び主要地方道御坊中津線、御坊地域と日高川町をつなぐ一般県道玄子小松原線、御坊地域と美浜町をつなぐ一般県道柏御坊線、湯川地域と美浜町をつなぐ主要地方道御坊由良線、御坊地域と湯川地域をつなぐ一般県道井関御坊線及び一般県道御坊停車場線、湯川地域と藤田地域をつなぐ一般県道江川小松原線とその他市道によって構成されています。

公共交通は、JR の紀勢本線と私鉄の紀州鉄道があり、御坊駅で乗り入れています。加えて同駅では、特急を含む全ての列車が停車します。市内に乗り入れているバスは熊野御坊南海バスと中紀バスがあり、前者は御坊駅を起点に印南方面、日高町方面、奥日高方面へ運行し、後者は紀伊由良駅を起点に一部が市内で運行されています。本市市街地の寺内町を除くエリアと御坊駅、道成寺駅への接続、並びに国道 42 号沿いに長く伸びた路線となっています。

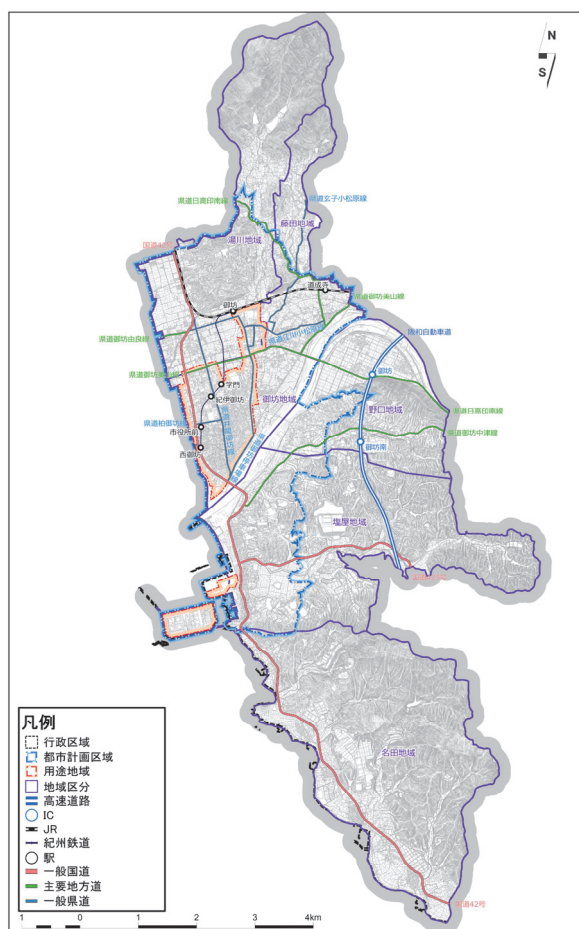


図 交通網図

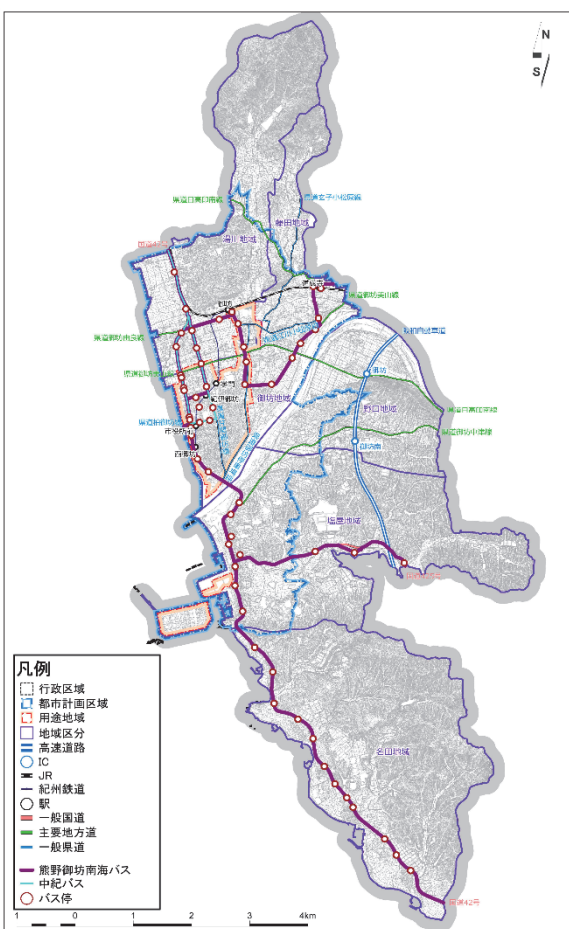


図 バス路線図

資料：国土数値情報

②緊急輸送道路

・第2次緊急輸送道路の県道御坊美山線は今後10年で整備予定路線

県庁所在地、地方中心都市及び国際拠点港湾、重要港湾、空港等、広域防災拠点を連絡する第1次緊急輸送道路として、国道42号、近畿自動車道、県道御坊美山線、県道日高印南線、塩屋臨港道路、第1次緊急輸送道路と市区町村役場、防災拠点等を連絡する第2次緊急輸送道路として、国道425号、県道御坊由良線、県道御坊美山線、県道井関御坊線、県道柏御坊線、県道御坊停車場線、県道御坊中津線、市道西郡南尻線、市道下吉田西線、市道千津川富安線、第2次緊急輸送道路と防災拠点を連絡する第3次緊急輸送道路として、市道猪野々野島線、市道運動公園線が位置付けられています。

なお、県道御坊美山線のうち第2次緊急輸送道路の一部（藤田町藤井の下図赤丸破線）は、今後10年以内に整備着手予定の路線となっています。

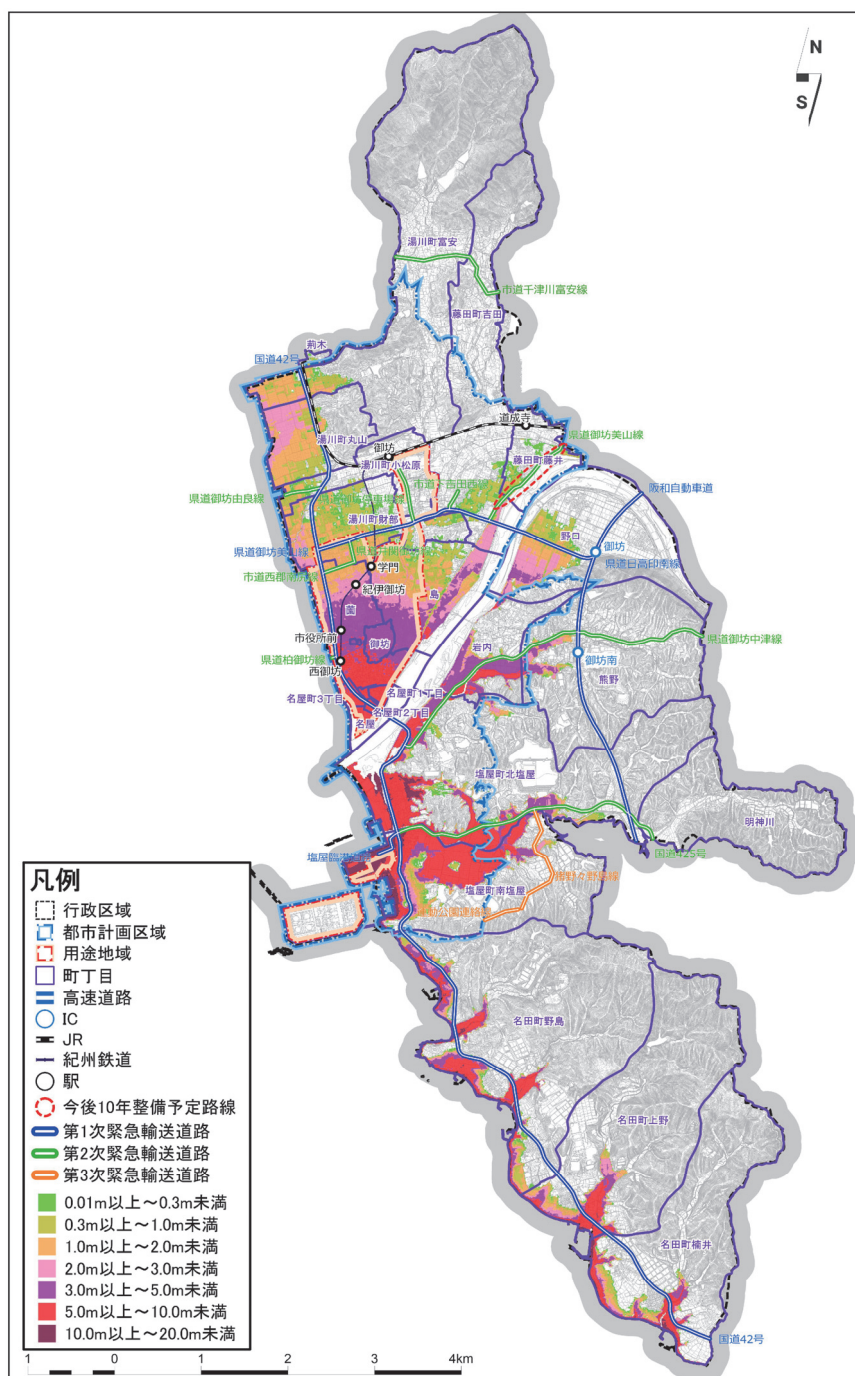


図 緊急輸送道路と津波浸水想定区域

資料：R3 御坊市地域防災計画

③乗降・利用客数

- ・ JR の年間平均 1 日当たりの乗降客数の令和 3（2021）年は 10 年前の平成 23（2011）年より 3 割減した 2,706 人/日
- ・ 紀州鉄道の令和 3（2021）年は前年から 7,000 人増加した 86,000 人

JR の年間平均 1 日当たりの乗降客数は、平成 30（2018）年までは若干の増減を繰り返しつつも、概ね 3,500 人/日程度で推移していましたが、新型コロナウイルスの影響もあり令和元（2019）年から継続して減少し、直近の令和 3（2021）年は 10 年前の平成 23（2011）年より 3 割減少した 2,706 人/日となっています。

紀州鉄道も平成 30（2018）年までは若干の増減を繰り返しつつも、概ね 100,000 人程度で推移し、令和元年から減少しましたが、直近の令和 3（2021）年は前年から 7,000 人増加した 86,000 人となっています。

熊野御坊南海バスは令和 2（2020）年まで一貫して減少傾向にあり、令和 3（2021）年から回復に転じている一方、中紀バスは継続した減少傾向にあります。

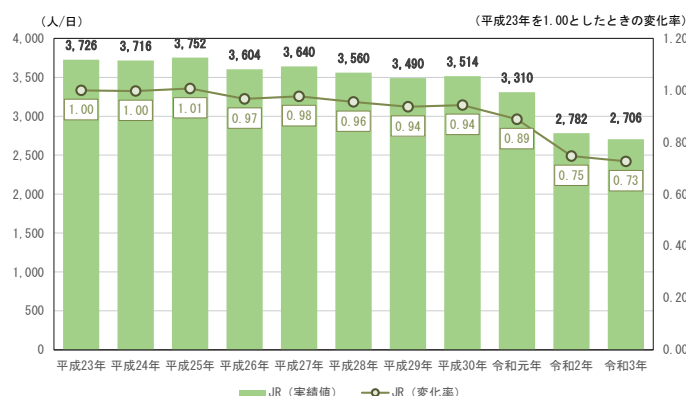


図 JR 乗降客数（1日あたり）の推移

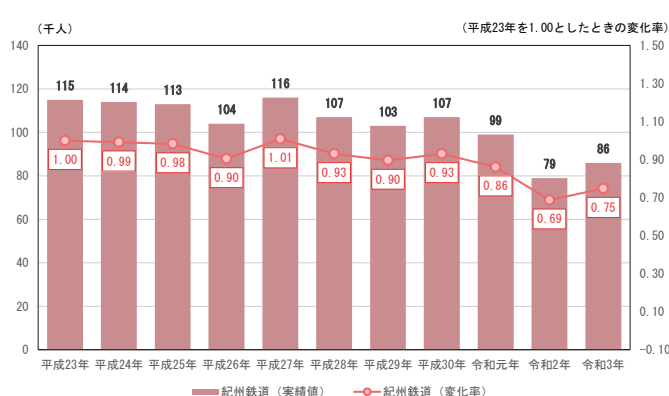


図 紀州鉄道輸送量の推移

資料：和歌山県公共交通機関等資料集

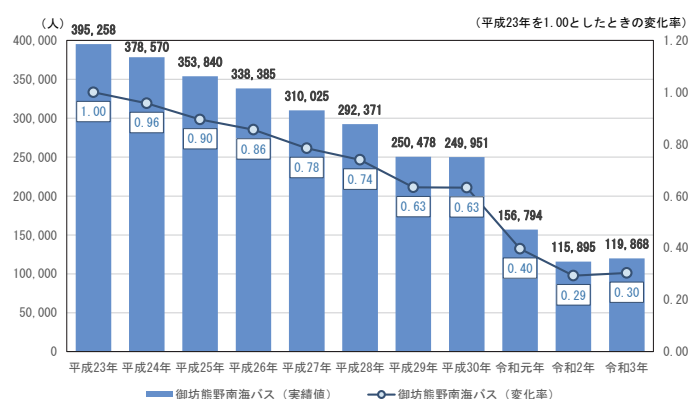


図 バス利用者の推移（熊野御坊南海バス）

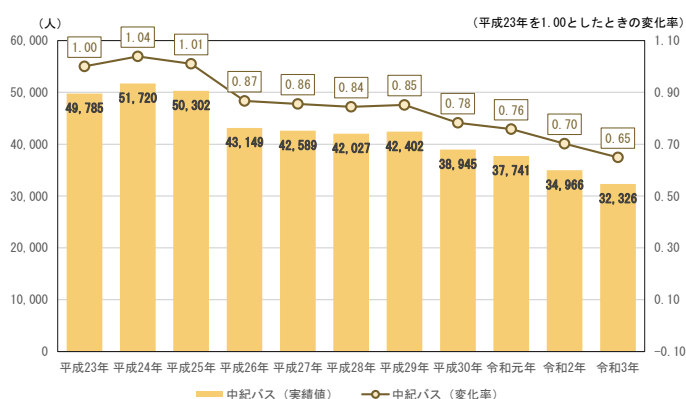


図 バス利用者の推移（中紀バス）

資料：統計ごぼう